

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)434文化財保存 経費	決算書頁
441 - 0		297

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 23 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-434-54
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	国史跡伊賀国庁跡環境整備事業		教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先 課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	公有地化を行った国史跡伊賀国庁跡の指定地		
	目的	史跡指定地の中の市有地の草刈り等の環境整備を実施する事により、史跡地周辺の環境を保全する。		
	内容	<p>国史跡伊賀国庁跡(坂之下地内)指定範囲のうち公有化を実施した土地について、畦畔の草刈り、圃場のくれ返しといった除草作業を行い、周辺の民間の水田等に悪影響を及ぼすことのないよう環境整備を図りました。</p> <p>【委託先】 草刈:伊賀市シルバー人材センター</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,350,000円	草刈業務委託料(くれ返し) 540,000円 草刈業務委託料(草刈) 810,000円	
	計	1,350,000円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,372	1,350	1,350	1,350	
		合計(A)	1,372	1,350	1,350	1,350	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.15 人	0.60 人	0.26 人	0.22 人	
		人件費	1,169	4,705	2,039	1,651	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,169	4,705	2,039	1,651	
合計(A+B)	2,541	6,055	3,389	3,001			
市民1人当たりのコスト(円)		27	65	37	33		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
草刈実施面積	環境整備を実施した面積	㎡	目標		25,002	25,002
			実績	20,922	25,002	25,002
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	策定した保存整備計画により、史跡公園としての整備に取り掛かる予定であるが、公園完成後も草刈りが必要となることが想定される。草の種類を検討しなるべく経費を抑える努力とともに、草刈りを地元にお願するなど、いかに経費削減するかが課題である。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 29 年度～平成 29 年度	01-10-05-02-434-55
	基本事業	① 文化財保護事業		
	事務事業名	全国国分寺サミット開催経費	担当部署	部・課名等 教育委員会文化財課
				評価責任者・連絡先 課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	伊賀国分寺跡		
	目的	遺跡の保存・活用の課題を共有し、文化財を活かしたまちづくりと観光に寄与する		
	内容	<p>全国の国分寺跡がある自治体が集まり、遺跡の保存や活用といった課題について情報交換を行い、地域の魅力の1つとして情報発信し、文化財を活かしたまちづくりと観光に寄与することを目的として、ヒルホテルサンピア伊賀で開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 名古屋大学大学院人文学研究科 梶原義実准教授 《国分寺の造営と「地域力」》 ・パネルディスカッション 参加市町首長等による討議 「わがまちと国分寺の魅力」 <p>参加市町: 15市町 仙台市、下野市、国分寺市、静岡市、稲沢市、鈴鹿市、志摩市、木津川市、豊岡市、奈良市、倉吉市、太宰府市、みやこ町、壱岐市、伊賀市</p> <p>一般参加者数: 約30名</p>		
事業に要した主な経費など				
		報償費	18,880円	講師謝礼
		旅費	38,220円	文化庁調査官旅費
		需用費	124,802円	ポスター等印刷製本費 ほか
		委託料	32,400円	看板等作成業務委託料
		使用料及び賃借料	265,727円	会場借上料 ほか
		役務費	6,440円	切手代
		計	486,469円	

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	0	0	0	0	財源: 全国国分寺サミット参加団体負担金
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	130	125	0	
		一般財源	0	470	362	0	
		合計(A)	0	600	487	0	
		人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.52 人	0.52 人	人
			人件費	0	4,078	4,078	0
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	0	4,078	4,078	0	
		合計(A+B)	0	4,678	4,565	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	51	49	0	

		指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標		一般参加者数	サミットに参加した市民の人数	人	目標	-	25	-
					実績	-	-	30
		指標化できない成果		達成	-	-	120.0%	

方向	完了	課題及び改善案 今回の開催地が決まっていない。規約案の提示とそれに基づく協議を行い、開催地を決定する必要がある。
-----------	-----------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)435文化施設維持管理事業	決算書頁
443 - 0		297

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-435-01
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	埋蔵文化財整理所等維持管理経費		教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先 課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	埋蔵文化財整理所		
	目的	施設の維持管理を行い、埋蔵文化財等を適切に保存管理できる状態とする。		
	内容	野台城跡・野台古墳群等の発掘調査で出土した遺物の整理作業及び、調査報告書の作成業務を行いました。 阿山ふるさと森公園の管理者に業務を委託し、阿山ふるさと資料保管庫の見学希望に応じて、開閉業務を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	17,000円	阿山ふるさと資料保管庫開閉等謝礼	
	印刷製本費	160,920円	伊賀市文化財年報14	
	修繕料	179,426円	草刈機、給湯器	
	その他	150,225円	光熱水費 ほか	
	計	507,571円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	307	462	508	463	
		合計(A)	307	462	508	463	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.12 人	0.18 人	0.23 人	0.24 人	
		人件費	935	1,412	1,804	1,801	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	935	1,412	1,804	1,801	
合計(A+B)	1,242	1,874	2,312	2,264			
市民1人当たりのコスト(円)		14	21	25	25		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
発掘調査成果の報告	発掘調査で作成した図面と出土遺物の整理による概報・報告数	件	目標		1	1
			実績	0	1	1
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	埋蔵文化財包蔵地内における開発事業に伴い実施した発掘調査において、作成した記録や出土遺物の整理を行い、報告書作成業務を行った。 今後、発掘調査が必要な開発事業が続く場合は、限られた人員では対応ができなくなることが想定される。発掘調査を行う民間業者の活用も視野に入れて検討していかなければならない。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-435-02
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	柘植歴史民俗資料館維持管理経費	教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先	課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	柘植歴史民俗資料館		
	目的	社会教育の場として文化財や民俗資料を適切に保存・管理し、広く観覧に供する。		
	内容	<p>収集された歴史・民俗資料を整理保管し、常設展において展示し広く観覧に供しました。また、地元団体の協力を得て企画展を行い、文化遺産の価値について啓発に努めました。企画展4回(文化財課:2回、ランプの会:2回) 【委託先】ランプの会</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	36,000円	企画展業務委託契約(企画展2回)	
	賃金	2,164,450円	業務従事者賃金(2名)	
	通信運搬費	29,808円	インターネット使用料	
	消耗品費	2,822円		
	回線使用料	6,180円	インターネット用回線使用料	
	計	2,239,260円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,163	2,124	2,239	2,349	
		合計(A)	2,163	2,124	2,239	2,349	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.21 人	0.25 人	0.34 人	0.29 人	
		人件費	1,637	1,961	2,666	2,176	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,637	1,961	2,666	2,176	
合計(A+B)	3,800	4,085	4,905	4,525			
市民1人当たりのコスト(円)		41	44	53	49		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
来館者数	単年度来館者累計	人	目標		1,400	1,400
			実績	1,303	1,349	845
指標化できない成果		達成		96.4%	60.4%	

方向	継続	課題及び改善案	市内の資料館のうち、当館は地元有志の「ランプの会」が積極的に地元の歴史を掘り起こす企画展示を定期的で開催しており、地域文化及び文化財の啓発に寄与している。入館者数が減少傾向であるため、企画展の内容の見直しや、新たな周知方法の検討などを行う必要がある。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)435文化施設維持管理事業	決算書頁
445 - 0		297

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-435-03
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	大山田郷土資料館維持管理経費	教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先	課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	大山田郷土資料館		
	目的	社会教育の場として、文化財や民俗資料を適切に保存管理、公開する。		
	内容	収集された民俗資料や出土遺物を保管し、観覧が可能なように施設の維持管理を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	160,164円	消防設備等保守点検業務委託	99,900円
			汚水処理施設維持管理業務委託	60,264円
	報償費	17,020円	講師謝礼	
	備品購入費	49,800円	冷房器具	
	その他	464,840円	光熱水費 ほか	
	計	691,824円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	31	33	4	10		
	一般財源	532	656	688	706		
	合計(A)	563	689	692	716		
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.10 人	0.17 人	0.12 人	
		人件費	312	785	1,333	901	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	312	785	1,333	901		
	合計(A+B)	875	1,474	2,025	1,617		
	市民1人当たりのコスト(円)	10	16	22	18		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	資料館への入館者数	資料館への入館者数	人	目標		1,300	1,300	1,300
				実績	1,691	1,267	789	
指標化できない成果			達成		97.5%	60.7%		

方向	継続	課題及び改善案	市内の資料館の展示内容が似通っていたことから、将来的には大山田郷土資料館に統合することを計画していたが、収蔵庫の容量不足等の問題のため、公共施設最適化計画自体の見直しも視野に入れて検討する必要が出てきている。入館者数も減少傾向であり、市内の民俗資料館のあり方を検討していきたい。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-435-56
	基本事業	① 文化財保護事業		
	事務事業名	城之越遺跡維持管理経費	担当部署	部・課名等
			教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先
				課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	城之越遺跡		
	目的	維持管理を行い、適切に保存・管理することで、社会教育の場として貴重な文化財を広く公開する。		
	内容	指定管理者を指定し、古墳時代の遺跡である名勝及び史跡城之越遺跡を文化財として保存管理するとともに、「竹灯り幽玄会」や「グランドゴルフ」のイベントを企画し活用を図りました。 指定管理者：(公財)伊賀市文化都市協会		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		委託料	6,723,000円	施設維持管理委託料(指定管理料)
		計	6,723,000円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	6,723	6,723	6,723	6,723	
	合計(A)	6,723	6,723	6,723	6,723			
	人件費	正規職員	業務量	0.09 人	0.16 人	0.14 人	0.40 人	
			人件費	702	1,255	1,098	3,001	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		702	1,255	1,098	3,001			
合計(A+B)	7,425	7,978	7,821	9,724				
市民1人当たりのコスト(円)			79	86	84	106		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	来場者数	年間来場者数の累計	人	目標	/	2,000	2,800	2,800
				実績	1,786	2,753	994	/
指標化できない成果			達成	/	136.8%	35.5%	/	

方向	継続	課題及び改善案 大溝や便益施設等の給排水施設の定期的なメンテナンスを必要とする。露出展示をしている大溝の経年変化を観察しているが、目地や法面等の剥離が見られる。施設の修繕も必要な時期にきており、開園日の見直し等、管理体制を見直す必要がある。
-----------	-----------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)435文化施設維持管理事業	決算書頁
447 - 0		297

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-435-59
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	文化財施設維持管理経費	教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先	課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	旧崇広堂、旧小田小学校本館、入交家住宅		
	目的	維持管理を行い、適切に保存・管理することで、社会教育の場として貴重な文化財を広く公開する。		
	内容	旧崇広堂・旧小田小学校本館・入交家住宅の指定管理者を指定し、文化財施設として保存管理するとともに、イベント・企画展等を開催し文化財の活用を図りました。 指定管理者：(公財)伊賀市文化都市協会		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料 使用料及び賃借料	15,457,000円 120,000円	施設維持管理委託料(指定管理料) 駐車場用地借上料(旧小田小学校本館)	
	計	15,577,000円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	15,577	15,577	15,577	15,577
		合計(A)	15,577	15,577	15,577	15,577
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.09 人	0.34 人	0.42 人	0.47 人
		人件費	702	2,666	3,294	3,526
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	702	2,666	3,294	3,526
合計(A+B)	16,279	18,243	18,871	19,103		
市民1人当たりのコスト(円)		173	196	203	207	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	来場者数合計	人	目標	16,500	17,000	20,000
			実績	16,297	17,095	19,469
指標化できない成果		達成		103.6%	114.5%	

方向	継続	課題及び改善案	文化財施設は保存しつつ活用し、将来に受け継いでいく必要がある。現在は定期的に指定管理者によるイベント等に活用されており、来場者数も増えている。指定管理者と連携し、今後も積極的な公開活用に向けていく。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)436文化財調査事業	決算書頁
448 - 0		299

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-436-51
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	民間等受託発掘調査経費		教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先 課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	埋蔵文化財		
	目的	開発によって失われる埋蔵文化財を適切に調査・記録する。		
	内容	平成28年度に行った野台城跡・野台古墳群発掘調査の報告書を刊行(繰越明許費)し、費用を精算、事業者へ返還しました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		過年度負担金精算返還金	1,772,109円	
		計	1,772,109円	

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	1,374	4,300	0	4,300	
		一般財源	0	0	1,773	0	
	合計(A)	1,374	4,300	1,773	4,300		
人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.37 人	0.02 人	0.52 人	
		人件費	4,675	2,902	157	3,901	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	4,675	2,902	157	3,901	
	合計(A+B)	6,049	7,202	1,930	8,201		
市民1人当たりのコスト(円)		65	78	21	89		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
発掘調査進捗状況	発掘調査現場における調査の進捗状況	%	目標		100	100
			実績	-	100	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	事業完了により、事前に徴収していた負担金を精算し、返還した。 今後、発掘調査が必要な開発事業が続く場合は、限られた人員では対応ができなくなるのが想定される。発掘調査を行う民間業者の活用も視野に入れて検討していかなければならない。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)436文化財調査事業	決算書頁
449 -		299

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 28 年度～平成 29 年度	01-10-05-02-436-51
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	民間等受託発掘調査経費(繰越明許費分)		教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先 課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	野台城跡・野台古墳群		
	目的	開発によって失われる埋蔵文化財を適切に調査・記録する。		
	内容	平成28年度に行った野台城跡・野台古墳群の発掘調査の調査報告書を刊行しました。		
事業に要した主な経費など		需用費	153,900円	報告書印刷製本費
		計	153,900円	

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	300	154	0	
	合計(A)	0	300	154	0	
人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.22 人	0.22 人	人	
		人件費 0	1,726	1,726	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費				
	小計(B)	0	1,726	1,726	0	
合計(A+B)	0	2,026	1,880	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	22	21	0	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
報告書作成進捗状況	報告書を刊行するまでの進捗率	%	目標	30	100	-
			実績	-	30	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	専門の調査技師がない状況で、このような発掘調査にいかに対応していくかが今後の検討課題である。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)436文化財調査事業	決算書頁
450 - 0		299

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 29 年度～平成 29 年度	01-10-05-02-436-57
	基本事業 ①	文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	国史跡上野城跡植生調査経費		教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先 課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	国史跡上野城跡の植生		
	目的	史跡内の稀少植物の生息状況を把握し保護していく。		
	内容	上野城跡高石垣の草刈が実施される前に、石垣に生育しているイガザサやヒナランといった希少な植物の分布調査を実施し、保護することを目的として実施しました。		
事業に要した主な経費など				
	委託料	1,047,600円	調査業務委託料	
	計	1,047,600円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,048	0
		合計(A)	0	0	1,048	0
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.32 人	人
		人件費	0	0	2,510	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	0	0	2,510	0	
合計(A+B)	0	0	3,558	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	0	39	0	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調査進捗率	調査の進捗率	%	目標	-	100	-
			実績	-	-	100
指標化できない成果		達成	-	-	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	希少な植物が高石垣に分布している状況は貴重であり、石垣とともに保護していく必要がある。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(細目)437文化財保存 整備事業	決算書頁
451 - 0		299

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 26 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-437-58
	基本事業 ①	文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	国史跡上野城跡高石垣計測事業	教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先	課長 狩野 守正 0595-47-1285

事務事業の概要	対象	国史跡上野城跡高石垣		
	目的	危険箇所を把握し、修復の必要性を判断したり、危険性を周知できるようにする。		
	内容	27年度(26年度明許繰越)実施した上野城跡高石垣レーザー測量事業に際して設置した7地点32箇所中、今年度は13箇所の定点観測を行い、目視では分からない高石垣の状況を把握しました。若干のずれはあったものの、誤差の範囲であり、緊急に対処を要する状態は観測されませんでした。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	220,320円	測量業務委託料	
	計	220,320円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	252	222	220	262	
		合計(A)	252	222	220	262	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.15 人	0.27 人	0.22 人	0.32 人	
		人件費	1,169	2,118	1,726	2,401	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,169	2,118	1,726	2,401	
合計(A+B)	1,421	2,340	1,946	2,663			
市民1人当たりのコスト(円)		16	26	21	29		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
観測回数	一年に定点観測を実施した回数	回	目標		1	1
			実績	1	1	1
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	予算が削減される中でいかに継続して観測を実施するかが課題である。
----	----	---------	----------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	施策	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 28 年度～平成 32 年度	01-10-05-02-437-61
	基本事業	①	文化財保護事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	歴史的風致維持向上計画進捗管理事業	教育委員会文化財課	課長 狩野 守正	0595-47-1285

事務事業の概要	対象	上野城下町など歴史的風致の重点区域		
	目的	地域の歴史的な風情情緒を活かしたまちづくり支援		
	内容	平成28年5月19日に認定された「伊賀市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的風致(地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史的価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境)の重点区域に対し、歴史的風致形成建造物を指定しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		旅費	137,530円	歴史的風致維持向上計画認定都市担当者会議(鶴岡市)など
		使用料及び賃借料	9,400円	有料道路通行料
		負担金、補助及び交付金	12,000円	中部歴史まちづくりサミット(明和町)
		需用費	18,887円	消耗品費
		計	177,817円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	306	529	178	359	
	合計(A)	306	529	178	359			
	人件費	正規職員	業務量	0.85 人	0.95 人	0.90 人	0.51 人	
			人件費	6,623	7,449	7,057	3,826	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		6,623	7,449	7,057	3,826			
合計(A+B)	6,929	7,978	7,235	4,185				
市民1人当たりのコスト(円)		74	86	78	46			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	進行中事業数	計画書掲載事業のうち、現在進行中の事業数	件	目標	/	15	10	10
				実績	0	15	12	/
指標化できない成果			達成	/	100.0%	120.0%	/	

方向	継続	課題及び改善案 事業実施に当たっては、事業の進捗管理を実施するとともに、地元とも協議しながら建設部局等と連携していく。
-----------	-----------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	512 部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-03-438-01
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	指導者育成経費		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 山本恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	同和地区内及び近隣地区の園児・児童生徒、保護者・地域住民		
	目的	各教育集会所に社会同和教育指導員を配置し、人権同和教育の推進を行う。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 各教育集会所での地区学習会の円滑な開催運営をめざして、就学前・小学校・中学校・高校と連携し、現状と課題を共有した上で、指導・助言を行いました。 各教育集会所におけるサークル活動や教室の参加者を対象に、人権教育推進に向けた指導・助言を行いました。 伊賀市同研の各支部同研活動への指導・助言を行いました。 教育相談(時には子育て、生活、介護福祉、進路、就労など)や部落問題についての悩み等の相談事業を実施しました。 地域住民や周辺地域住民、市内外の学校・教育機関(教員)をはじめ、市職員等、あらゆる対象への人権・部落問題研修等を開催しました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	13,214,352円	各教集・社会同和教育指導員1名×6箇所	
	共済費	1,742,648円	同上	
	報償費	144,000円	事業推進報償費	
	旅費	65,260円		
	負担金、補助及び交付金	4,000円	研修会参加負担金	
	計	15,170,260円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	15,110	15,195	15,170	15,206	
		合計(A)	15,110	15,195	15,170	15,206	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	0	0	0	0	
合計(A+B)	15,110	15,195	15,170	15,206			
市民1人当たりのコスト(円)		161	163	163	165		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指導員の活動回数	社会同和教育における、あらゆる活動の回数(相談・助言・支援等の回数)	回	目標		200	300
			実績	382	573	654
指標化できない成果		達成		286.5%	218.0%	

方向	継続	課題及び改善案	社会同和教育指導員については、あらゆる差別の撤廃に向け、部落差別解消推進法に基づき、啓発や教育の推進及び相談体制の充実をめざして、社会同和教育研究活動を中心に、学校・地域のニーズに対応した支援・指導していきます。また、次世代の人権啓発リーダーの育成も視野に入れ事業を展開すると共に、あらゆる人権侵害の解決を目指し、社会同和教育指導員が積極的に研修会等に参加するよう努めます。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	512	部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-03-439-51
	①	同和施策推進計画の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	同和教育研究推進事業	教育委員会生涯学習課	課長 山本恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	伊賀市市民全員及び伊賀市内人権教育団体		
	目的	人権を尊重し、あらゆる差別のない明るい地域社会を実現する。		
	内容	<p>①伊賀市社会同和教育指導員(条例7名のうち、1名)と臨時職員1名を任用し、伊賀市における社会同和教育の推進・充実と発展をめざしました。</p> <p>②伊賀市内の人権同和教育の充実と発展に資する目的で、伊賀市人権同和教育研究協議会と上野社会同和教育研究会へ、人権同和教育研究活動事業を委託しました。</p> <p>③伊賀市・伊賀市教育委員会が主催・共催・後援する、同和問題をはじめ、人権尊重と啓発の研修・講演・学習会など、あらゆる機会をとらえて、人権同和教育の研究推進・人権啓発を行いました。</p> <p>④いがまち公民館の同和教育研究事業を行いました。</p> <p>【成果指標の説明】</p> <p>5年毎に実施される、人権問題に関する市民意識調査項目で、「人権問題と部落差別の認識」について、人権問題を「人権問題とは、差別を受ける人も問題であって、自分には関係がない」と考える人の割合(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)が10.1%、部落差別について「部落差別は、いけないことだが、私とは関係ない話である。」と考える人の割合(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)が28.1%となっており、その差は18.0%となります。→「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」(自分に関係のあることと捉える人)を 部落差別と人権問題で同じ数値に近づけたいと考えます。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,858,800円	伊賀市全体の社会同和教育指導員1名	
	共済費	508,466円	社会同和教育指導員保険料及び臨時職員	
	賃金	1,638,569円	人権同和教育係臨時職員1名	
	委託料	7,040,000円	○人権同和教育研究活動事業委託契約先 伊賀市人権同和教育研究協議会(伊賀市同研)	
		200,000円	○社会同和教育研究活動事業委託契約先	
	使用料及び負担金補助金	342,860円	○いがまち学校人権・同和教育研究会事業	
	計	11,588,695円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	12,600	11,650	11,589	13,417	
	合計(A)	12,600	11,650	11,589	13,417			
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.00 人	人	人	
			人件費	2,338	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,338	0	0	0			
合計(A+B)	14,938	11,650	11,589	13,417				
市民1人当たりのコスト(円)			159	125	125	146		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	伊賀市民の人権問題に関する意識の向上	5年毎に実施される人権問題意識調査結果をもとに検証する。	%	目標	-	-	-	-
				実績	18.6ポイント	-	-	-
指標化できない成果	市民の人権同和問題に関する意識は、市民意識調査に委ねる。		達成	-	-	-	-	

方向	継続	課題及び改善案 事業委託先である伊賀市人権同和教育研究協議会においては、あらゆる差別の撤廃に向け、部落差別解消推進法に基づき、啓発や教育を社会教育分野で推進するために、地域の特性に応じた各支部同研の歴史的背景や活動を尊重しつつ、委託料の効果的な活用をめざします。また、財源確保の観点から、会費収納による個人や団体会員のさらなる拡大を推進します。
----	----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	512	部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-03-440-51
	基本事業 ②	隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	同和问题啓発事業	教育委員会いがまち公民館	評価責任者・連絡先	館長 馬場 清 0595-45-9122

事務事業の概要	対象	伊賀市民		
	目的	住民一人ひとりが同和问题意識を持ち、同和问题解決にむけての動きを創出し、住民と行政が協働して同和教育を推進する。		
	内容	<p>同和问题に対する正しい知識を身に付け、差別をなくしていく将来の担い手を育てるための研修や、組織別研修会・学習会などを開催し、人権啓発図書も購入しました。</p> <p>・あやま人権・同和问题学習講座を4回開催しました。参加者数合計527名 開催日 参加者数 講師 内容 6月2日 193名 本江 優子 「おとなの学び～「気づき」を大切に～」 8月25日 125名 中村 尚生 「今日の部落問題 ～インターネット上で起こる差別事象からみる部落問題～」 10月6日 113名 服部 亜龍 「男女共同参画に関するワーク・ライフバランスについて」 1月26日 96名 伊藤 信雄 「在日外国人の人権を考える～ちがいを認め合い支え合う～」</p> <p>・人権啓発図書の購入 こんとんじいちゃんの裏庭など本7冊、読み聞かせ絵本1冊購入</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	98,000円	・同和问题学習講座講師謝礼 33,000円+33,000円+32,000円	
	消耗品費	4,715円	用紙代ほか	
	通信運搬費	15,100円	切手代	
	備品購入費	19,820円	人権啓発図書等を購入	
	計	137,635円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	167	159	138	127
		合計(A)	167	159	138	127
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.17 人	0.22 人	0.20 人	0.22 人
		人件費	1,325	1,726	1,569	1,651
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
		人件費				
		小計(B)	1,325	1,726	1,569	1,651
合計(A+B)	1,492	1,885	1,707	1,778		
市民1人当たりのコスト(円)		16	21	19	20	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加者	広く地域住民の人権・同和问题意識を高めるため、講演会研修会参加者を指標としました。	人	目標		600	700
			実績	556	619	527
指標化できない成果		達成		103.2%	75.3%	

方向	継続	課題及び改善案	<p>人権問題を自分自身のこととして考える機会として「研修会・学習講座」を開催し、伊賀市民の人権意識の向上のため参加者を増やすための周知方法やアンケート結果をもとにテーマを検討していく。また、同和问题の解決に向け主体的に活動し、社会に貢献するリーダーを育成するための研修会を実施する。</p> <p>29年度は同和奨学金交付式の際開催する研修会の講師謝礼を支払わなかったため参加者数も加算していないので、達成率が低下した。</p>
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	542 子どもや若者が、健やかに成長する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-04-441-51
	基本事業	① 青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	青少年健全育成事業	教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先	課長 山本 恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	市内の児童生徒及び青少年の健全育成を願う市民																
	目的	心豊かで思いやりのある青少年の育成を推進する。																
	内容	<p>(1)第10回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発しました。(2)第二次伊賀市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもに読書に親しむ機会を提供するとともに、家庭での読書活動の大切さを働きかけ、子どもの読書活動を推進しました。(3)青少年健全育成推進大会 午前の部 人形劇「ブッペンポップなにつくろう・あかずきんちゃん」を3月10日に開催し、人形劇を親子で楽しむことで、親子のふれあいの大切さについて考えてもらう機会となりました。参加者数153名 午後の部 インターネット安心安全講演会 参加者数45名(4)伊賀市青少年育成市民連絡会議へ青少年育成活動事業補助をし、伊賀市青少年健全育成地域活動支援事業を実施し、地域住民との交流、世代間交流、自然の中での体験など各団体の特色を生かす事業が実施できました。(5)青少年非行防止の取り組みとして、青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を実施しました。伊賀市青少年ネットワークづくり研修会、伊賀地区こどもわかもの育成支援のための地域研修会に参加し、青少年への関心や課題意識を共有し、青少年を取り巻く事例について研修するとともに、青少年の健全育成について市民への周知啓発に努め、地域一体となって青少年を見守る取組みを進めました。</p>																
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>21,000円</td> <td>いがっ子フォトコンテスト副賞</td> </tr> <tr> <td>青少年育成活動事業補助金</td> <td>2,487,000円</td> <td>伊賀市青少年育成市民連絡会議</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>165,163円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,673,163円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	21,000円	いがっ子フォトコンテスト副賞	青少年育成活動事業補助金	2,487,000円	伊賀市青少年育成市民連絡会議	その他	165,163円		計	2,673,163円			
経費	金額	摘要																
報償費	21,000円	いがっ子フォトコンテスト副賞																
青少年育成活動事業補助金	2,487,000円	伊賀市青少年育成市民連絡会議																
その他	165,163円																	
計	2,673,163円																	

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,038	2,790	2,673	2,750	
合計(A)		3,038	2,790	2,673	2,750		
人件費	正規職員	業務量	0.78 人	0.66 人	0.60 人	人	
		人件費	6,077	5,176	4,705	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	6,077	5,176	4,705	0	
合計(A+B)		9,115	7,966	7,378	2,750		
市民1人当たりのコスト(円)		97	86	80	30		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	青少年健全育成推進大会参加者数	人	目標	165	200	200
			実績	211	290	198
指標化できない成果		達成		175.8%	99.0%	

方向	継続	課題及び改善案	補助金の見直しを行い青少年健全育成地域活動支援事業を始めるなど、青少年の健全育成という目標に向かって一体となって取り組む体制を進めている。団体への補助金を減らしていく情勢であるが、団体が独自に活動に取り組み、運営していく体制を整えていく必要がある。事業については、青少年の健全育成推進のため、参加者のニーズの把握と参加者数の増加に努めていく。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)04青少年育成費(細目)441青少年健全育成事業	決算書頁
457 - 0		301

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	131	子どもを安心して産み、育てることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-04-441-52
	基本事業	② 子育て支援対策事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	放課後子ども教室推進事業	教育委員会生涯学習課	課長 山本 恵美子	0595-22-9679

事務事業の概要	対象	小学校1～6年生までの希望する児童		
	目的	放課後に学校の空き教室や集会所を利用して、子どもの居場所を提供する。		
	内容	<p>○放課後子ども教室</p> <p>伊賀市内で4つの教室を実施しました。</p> <p>柘植教室: 柘植放課後子ども教室運営委員会 毎週水曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前7時から午後6時まで。</p> <p>青山教室: 青山放課後子ども教室運営委員会 毎週火水木曜日の放課後から午後5時まで。長期休業中は午前9時から午後5時まで。</p> <p>西柘植教室: 西柘植放課後子ども教室運営委員会 毎月4回(水曜)。放課後から午後6時まで。長期休業中は午前9時から午後5時まで。</p> <p>古山教室: 古山放課後子ども教室運営委員会 毎週水金曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前8時30分から午後6時まで。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	619,380円	コーディネーター謝礼(4教室×1名)	
	需用費	15,984円	事務用品等	
	委託料	3,411,861円	放課後子ども教室運営委託料(4教室)	
	計	4,047,225円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	1,987	3,508	2,680	1,846	放課後子ども教室推進事業費補助金(国1/3、県1/3、市1/3)
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	995	1,754	1,367	924	
		合計(A)	2,982	5,262	4,047	2,770	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.02 人	0.02 人	0.10 人	人	
		人件費	156	157	785	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	156	157	785	0	
合計(A+B)	3,138	5,419	4,832	2,770			
市民1人当たりのコスト(円)		34	59	52	30		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平均利用児童数	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計)	人	目標		80	80
			実績	57	37	40
指標化できない成果		達成		46.3%	50.0%	

方向	継続	課題及び改善案
		放課後の子どもたちを見守る地域事業であるため住民の協力が欠かせないが、ボランティアの人員不足や高齢化などによって事業継続が困難となっている地域や、放課後児童クラブの開設の影響もあり減少傾向にあるため、ボランティアの確保・育成を支援し、安心安全な居場所づくりと地域づくりを推進する必要がある。新規教室の開設に向けて事業の周知啓発に努める。また、「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと一層の連携を図っていく。 ※30年度からは開設数は3教室(柘植・西柘植・古山)になる。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)04青少年育成費(細目)441青少年健全育成事業	決算書頁
458 -		301

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	542 子どもや若者が、健やかに成長する	平成 29 年度～平成 年度	01-10-05-04-441-55
	基本事業	① 青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	学校支援地域本部推進事業		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 山本恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	学校支援地域本部における学習支援を希望する小学生及び中学生		
	目的	学校支援地域本部を中心に地域学校協働活動の推進を図り、生活困窮世帯を含めた小中学生に対して、地域力を活用した学習支援を行う。		
	内容	<p>○学習支援事業</p> <p>柘植中学校区地域未来塾運営協議会による学習支援</p> <p>小学生：毎週火・金曜日の午後4時から午後5時まで。</p> <p>中学生：毎週火曜日の午後7時30分から午後9時まで。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	70,300円	コーディネーター謝礼	
	委託料	846,596円	地域未来塾運営管理委託料	
	計	916,896		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	646	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	325	317	325	
		合計(A)	0	971	917	971	
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.10 人	0.10 人	人
人件費			0	785	785	0	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	0	785	785	0	
		合計(A+B)	0	1,756	1,702	971	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	19	19	11	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	学習時間	年間学習時間	h	目標			75	75
				実績			76.5	
	指標化できない成果		達成			102.0%		

方向	継続	課題及び改善案	生活困窮世帯を含めた小・中学生の学習支援について、地域における元教員や青年層と協力して学習の場を確立するため、さらなる地域や小中学校との連携を図る必要がある。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)04青少年育成費(細目)442青少年センター運営経費	決算書頁
459 - 0		301

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	542	子どもや若者が、健やかに成長する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-04-442-01
	基本事業 ①	青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	青少年センター運営経費	教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先	課長 山本 恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	市内の児童生徒や未成年者		
	目的	街頭補導や青少年相談、環境浄化活動を行なうことによって青少年の非行防止や犯罪を防止する。		
	内容	<p>(1)街頭補導活動:①毎月4回の定時補導と三重県警察少年指導委員、伊賀地区少年警察協働員との各月1回の補導を実施しました。②学校や警察からの不審者情報および事件の連絡や各青少年市民会議等からの派遣要請に応じ、児童の下校時にパトロールを実施しました。不審者情報が年々増加している状況で、保護者等からのパトロールの要請があり、不審者情報が寄せられた時間帯に合わせてパトロール巡回することで児童が安全に下校できるようサポートしました。③学校の長期休業時には随時補導を計画的に実施し、祭礼などの市民的行事には特別補導を行い、問題行動を未然に防止することで、不良行為の減少につながりました。</p> <p>(2)青少年相談活動:市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知に努めました。本人や家族からの相談を受け、相談内容によっては、他のサポートセンターと連携しより適切な指導・助言に努め、青少年の抱える悩みの解決を支援しました。</p> <p>(3)環境浄化活動:青少年に有害な環境点検のパトロールを三重県任命立入調査員の協力を得て、コンビニエンスストア・書店・小売店へ出向き、低俗な広告物・有害玩具・不良環境などの排除への協力を依頼しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	4,215,000円	主任補導員報酬 補導員報酬・委員報酬	
	共済費	599,412円	主任補導員保険料	
	旅費	4,366円		
	需用費	101,509円		
	役務費	127,288円		
	計	5,047,575円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	4,750	5,166	5,048	5,111
		合計(A)	4,750	5,166	5,048	5,111
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.35 人	人
		人件費	3,117	3,137	2,745	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	3,117	3,137	2,745	0
合計(A+B)	7,867	8,303	7,793	5,111		
市民1人当たりのコスト(円)		84	89	84	56	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
補導少年数	随時補導・定時補導・警察少年指導委員特別街頭補導・少年警察協働員街頭補導での補導少年数	人	目標		55	10
			実績	2	9	8
指標化できない成果		達成		16.4%	80.0%	

方向	継続	課題及び改善案	大規模小売店やゲームセンターなど青少年が集まっている場所の把握に努めるとともに、補導活動の必要がある場所について随時検討し、補導施設の追加や補導ルートの変更を行った。今後も、新たに補導活動の必要がある場所を常に検討するとともに、不審者対策のパトロールに力を入れ、児童の安全確保に努め、補導活動の充実を図っていく必要がある。
----	----	---------	---

整理番号	460 - 0	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)05公民館費(細目)443公民館管理経費	決算書頁	301
------	---------	---	------	-----

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	541 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-05-443-01
	基本事業	④ 公民館活動事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	公民館管理経費		教育委員会中央公民館	評価責任者・連絡先 館長 山本 恵美子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	公民館を利用する市民、活動する団体		
	目的	公民館利用者のために、適正な施設維持管理を行うとともに、運営する職員の自己実現を図る。		
	内容	<p>伊賀市公民館運営審議会を開催しました。また、各地区公民館の維持管理及び施設の貸館、備品管理を行いました。</p> <p>①伊賀市公民館運営審議会 10月10日及び3月20日に開催し、各地区公民館の事業進捗状況や今後の公民館活動のあり方について審議を行ないました。</p> <p>②施設の貸館実績 生涯学習センター 63,469人 いがまち公民館 8,694人 島ヶ原公民館 3,517人 阿山公民館 9,637人 大山田公民館 6,035人 青山公民館 7,377人</p> <p>③備品管理 青山公民館にFAXを購入しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	132,000円	運営審議会委員報酬(中央)	
		178,200円	地区公民館長・主事報酬(青山)	
	賃金	1,073,350円	業務従事者賃金(大山田)	
	需用費	8,249,485円	(中央、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	委託料	1,774,409円	(いがまち、阿山、大山田、青山)	
	使用料及び賃借料	405,701円	(中央、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	その他	857,557円	(中央、阿山、大山田、青山)	
	計	12,670,702円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	722	773	726	334		
	一般財源	13,547	12,749	11,945	11,760		
	合計(A)	14,269	13,522	12,671	12,094		
人件費	正規職員	業務量	3.10 人	3.10 人	3.10 人	3.10 人	
		人件費	24,153	24,308	24,308	23,254	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	1.23 人	1.23 人	1.23 人	1.23 人	
		人件費					
	小計(B)	24,153	24,308	24,308	23,254		
	合計(A+B)	38,422	37,830	36,979	35,348		
	市民1人当たりのコスト(円)	408	406	397	383		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	来館者数	各施設利用申込書等からの引用	人	目標		121,400	122,000	99,600
				実績	104,212	130,596	98,729	
	指標化できない成果		達成		107.6%	80.9%		

方向	継続	課題及び改善案	市が社会教育法上の公民館を管理運営していくための経費であり、生涯学習活動の拠点として市民が利用しやすい公民館を目指していく。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	541 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-05-444-51
	基本事業	④ 公民館活動事業	担当 部署	部・課名等 教育委員会中央公民館
事務事業名	公民館事業経費			評価責任者・連絡先 館長 山本 恵美子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	公民館を利用する市民、活動する団体		
	目的	公民館が教室や事業を実施し、市民が自分のニーズにあった教室を受講し学んでいくことで、生きがいのある生活の支援につながっている。		
	内容	<p>各地区公民館において、各種教室講座・各種講演会の開催、青少年健全育成事業の実施・各種団体・サークル活動等の育成支援を行いました。</p> <p>①主な講座・教室・その他事業 上野公民館 悠々セミナー・脳&足筋体幹予防講座・親子で歩こう城下町！・戌の春展・サークルまつり他 いがまち公民館 みんな集合！こども体験教室・いがまち展覧会・いきいき園芸教室他 島ヶ原公民館 文化サークルまつり(演奏会)・文化作品まつり(展覧会)・健康教室・彩々教室他 阿山公民館 こどもちゃれんじ教室・すえひろ教室・チャレンジバンド教室・あやま展覧会・芸能まつり他 大山田公民館 親子でいっしょに英語であそぼう！・木工教室・屋下がりのミニコンサート・大山田芸術文化祭他 青山公民館 どんどこ田植え体験・春のミニミニコンサート・夏休み子ども体験講座・竹細工指導者育成講座他</p> <p>②講座・教室・その他事業の開催回数及び参加人数 上野公民館 54回 2,889人 阿山公民館 53回 2,823人</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	1,370,320円	事業推進報償費(上野、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	需用費	921,057円	(上野、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	役務費	740,545円	賠償責任保険料(上野、いがまち、阿山、大山田、青山)他	
	委託料	2,189,000円	(上野、阿山)	
	使用料及び賃借料	238,080円	(いがまち、阿山、大山田)	
	負担金、補助及び交付金	1,049,000円	サークル協議会補助金(上野、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	計	6,508,002円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	事業参加負担金 6,000円(青山)	
		地方債	0	0	0		
		その他	39	15	6		15
		一般財源	8,759	6,719	6,502		7,142
		合計(A)	8,798	6,734	6,508		7,157
事業費	人件費	正規職員	業務量 5.04 人	5.04 人	5.04 人	5.04 人	
		人件費	39,267	39,519	39,519	37,806	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費					
		小計(B)	39,267	39,519	39,519	37,806	
合計(A+B)	48,065	46,253	46,027	44,963			
市民1人当たりのコスト(円)		510	496	493	487		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業参加者数	教育行政評価等の実績から	人	目標		17,730	21,500
			実績	21,117	22,410	21,741
指標化できない成果		達成		126.4%	121.1%	

方向	継続	課題及び改善案	教室や講座を充実させるため、各地区公民館事業の情報共有を図るとともに、事業実施においては、参加者を増やすための工夫をしていきたい。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	541 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-06-445-01
	基本事業	④ 公民館活動事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	分館運営管理経費		教育委員会いがまち公民館	評価責任者・連絡先 館長 馬場 清 0595-45-9122

事務事業の概要	対象	公民館を利用する市民、活動する団体																																	
	目的	公民館利用者のために、適正な施設維持管理を行う。																																	
	内容	<p>柘植公民館(柘植歴史民俗資料館の併設)の維持管理及び施設の貸館、また備品管理(点検・修理)を行いました。</p> <p>施設利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>施設名</th> <th>利用日数(日)</th> <th>利用回数(回)</th> <th>延時間(時間)</th> <th>延利用人数(人)</th> </tr> <tr> <td>ホール</td> <td>87</td> <td>88</td> <td>176</td> <td>1,855</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1階会議室</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>26</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>2階会議室</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>64</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>132</td> <td>133</td> <td>266</td> <td>2,112</td> </tr> </table> <p>柘植歴史民俗資料館入館 開館日数 308日 入館者数 845人</p>				施設名	利用日数(日)	利用回数(回)	延時間(時間)	延利用人数(人)	ホール	87	88	176	1,855	和室	0	0	0	0	1階会議室	13	13	26	106	2階会議室	32	32	64	151	合計	132	133	266	2,112
	施設名	利用日数(日)	利用回数(回)	延時間(時間)	延利用人数(人)																														
ホール	87	88	176	1,855																															
和室	0	0	0	0																															
1階会議室	13	13	26	106																															
2階会議室	32	32	64	151																															
合計	132	133	266	2,112																															
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設設備保守委託料</td> <td>239,760円</td> <td>・消防設備等 103,680円 (委託:サイテック(株)) ・電気工作物 136,080円 (委託:中部電気保安協会)</td> </tr> <tr> <td>施設維持管理委託料</td> <td>110,660円</td> <td>・清掃業務 110,660円 (委託:(有)いわの美装)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>767,999円</td> <td>光熱水費 734,661円 その他 33,338円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>67,610円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,186,029円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要	施設設備保守委託料	239,760円	・消防設備等 103,680円 (委託:サイテック(株)) ・電気工作物 136,080円 (委託:中部電気保安協会)	施設維持管理委託料	110,660円	・清掃業務 110,660円 (委託:(有)いわの美装)	需用費	767,999円	光熱水費 734,661円 その他 33,338円	その他	67,610円		計	1,186,029円														
経費	金額	摘要																																	
施設設備保守委託料	239,760円	・消防設備等 103,680円 (委託:サイテック(株)) ・電気工作物 136,080円 (委託:中部電気保安協会)																																	
施設維持管理委託料	110,660円	・清掃業務 110,660円 (委託:(有)いわの美装)																																	
需用費	767,999円	光熱水費 734,661円 その他 33,338円																																	
その他	67,610円																																		
計	1,186,029円																																		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	公民館使用料	
		地方債	0	0	0		
		その他	69	81	68		
		一般財源	1,876	1,824	1,119		
		合計(A)	1,945	1,905	1,187		
	人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.32 人	0.20 人	0.30 人
			人件費	1,948	2,510	1,569	2,251
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人
			人件費				
		小計(B)	1,948	2,510	1,569	2,251	
合計(A+B)	3,893	4,415	2,756	3,989			
市民1人当たりのコスト(円)		42	48	30	44		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
来館者数	施設利用申込書等からの引用	人	目標		2,800	2,800
			実績	2,758	2,722	2,112
指標化できない成果		達成		97.2%	75.4%	

方向	継続	課題及び改善案	<p>市が社会教育法上の公民館を管理運営していくための経費であり、生涯学習活動の拠点として市民が利用しやすい公民館を目指していく。</p> <p>貸し館の利用者数は、平成25年度2000人未満に減少したが近年は2700人程で推移している。</p> <p>公共施設最適化計画では分館機能を廃止し、歴史民族資料館として文化財課に移管する計画だが、地元説明もまだ済んでいない。</p>
----	----	---------	---

整理番号
463 - 0

決算書頁
303

(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)06分館費(細目)446分館活動経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	541	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-06-446-51
	④	公民館活動事業		
事務事業名	分館活動経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			教育委員会 上野公民館	館長 山本 恵美子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	上野公民館分館・青山公民館分館利用者		
	目的	分館での学習の機会が提供され、講座受講や事業参画により、自主活動が喚起される。		
	内容	<p>上野21、青山6地区で分館事業(文化祭・講演会・各種教室講座・サークル活動育成)を実施しました。</p> <p>(上野東部)スポーツ大会他2事業 498,000円、(上野西部)作品展示会他10事業 305,000円、(上野南部)書道教室他14事業 315,000円、(小田)料理教室他12事業 302,000円、(久米)パークゴルフ大会他5事業 324,000円、(花之木)教養講座他7事業 256,657円、(長田)料理教室他8事業 260,000円、(新居)カルチャーin新居他11事業 306,000円、(三田)三田文化祭他5事業 277,000円、(諏訪)寄せ植え教室他6事業 246,000円、(府中)文化祭他11事業 327,000円、(中瀬)歴史探訪ウォーキング他11事業 301,000円、(友生)男の料理教室他3事業 284,000円、(猪田)文化祭他16事業 273,754円、(依那古)ふるさと探訪講座他10事業 278,996円、(比自岐)ふれあい祭り他9事業 246,000円、(神戸)絵手紙教室他7事業 285,000円、(古山)長寿社会教室他7事業 252,000円、(花垣)ふるさと学級他6事業 266,000円、(きじが台)文化祭他12事業 250,000円、(ゆめが丘)陶芸教室他1事業 335,000円、(阿保)カローリング競技大会他6事業 247,000円、(上津)納涼まつり他10事業 182,000円、(博要)ほたる祭り他7事業 160,000円、(高尾)夏祭り他8事業 160,000円、(矢持)文化展他5事業 167,000円、(桐ヶ丘)文化祭他9事業 343,000円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	7,447,407円	分館活動事業委託料 上野公民館21分館 6,188,407円 青山地区公民館6分館 1,259,000円	
	計	7,447,407円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	8,681	7,450	7,447	7,326	
		合計(A)	8,681	7,450	7,447	7,326	
	人件費	正規職員	業務量 0.28 人	0.28 人	0.28 人	0.28 人	
			人件費 2,182	2,196	2,196	2,101	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	2,182	2,196	2,196	2,101	
		合計(A+B)	10,863	9,646	9,643	9,427	
		市民1人当たりのコスト(円)	116	104	104	102	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	主催事業参加者数	各分館の委託料実績報告等から引用	人	目標		11,900	12,300	15,500
				実績	13,143	18,566	15,450	
	指標化できない成果		達成		156.0%	125.6%		

方向	<p>廃止</p> <p>課題及び改善案</p> <p>地区公民館分館規則に位置づけている、上野、青山の分館については、合併後も整理されていない状況の中で、課題解決を図りながら、市民センターの自治センター化に合わせ分館の位置づけを廃止していく。しかし活動については継続し、市内全地区において社会教育の推進をしていく。</p>
----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-07-447-01
	基本事業	② 図書館活動推進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	図書館管理経費	教育委員会 上野図書館	評価責任者・連絡先	館長 西尾 育夫 0595-21-6868

事務事業の概要	対象	市民及び市内在勤の方、関心を持っていただく方々すべて(一般公衆)																									
	目的	図書館法に定める国民の教育と文化の発展に寄与することを目的として図書館サービスを行う。																									
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運營業務を、(公財)伊賀市文化都市協会に委託し、市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実を図りつつ、学習ニーズに応えるとともに資料提供・情報発信に努めました。 ・図書館及び各分館図書室間での相互貸出・返却を行なう中で、図書館の利便性向上と利用促進を図りました。(配送冊数:23,727冊) ・第13回読書感想文コンクールを実施し、市内全小中学校から377点の応募をいただく中で、児童の読書普及に努めました。 ・「語る語る図書館&手作りナイトライブラリー」、図書館活用術「本とBGMで学ぶクラシック」「本と墨で楽しむ言葉」「伊賀鉄道開業10周年企画展 いがてつどうにのってみよう」等を開催し、今まで図書館・図書室を利用されてない方にも興味を持ってもらえるようイベント等に取り組む中で図書館の利用促進と、大人も子どもも本に親しむきっかけづくりをしました。 ・古文整理調査や古文書に関するレファレンス(調べもの相談)を伊賀古文献刊行会に業務委託し、市民が活用しやすい体制を整えました。また、「伊賀郷土史の研究」「伊賀びとによる芭蕉関連著述展」などの歴史企画展示や「郷土の夜咄会(6回開催)」を開催し、市民が伊賀の歴史を「学ぶ」「知る」等の機会を提供しました。 																									
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>132,500円</td> <td>読書感想文コンクール謝礼および入賞者副賞</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>2,097,010円</td> <td>新聞・雑誌等購読料 1,515,628円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>5,505,367円</td> <td>電気・ガス・水道料金</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>58,474,720円</td> <td>上野図書館業務委託料 51,425,993円 古文獻整理調査業務委託料 他 7,048,727円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>7,248,815円</td> <td>図書購入費(5,346冊) 7,168,095円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>5,451,033円</td> <td>その他施設維持管理経費等(図書システム関係含む)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78,909,445円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	132,500円	読書感想文コンクール謝礼および入賞者副賞	消耗品費	2,097,010円	新聞・雑誌等購読料 1,515,628円	光熱水費	5,505,367円	電気・ガス・水道料金	委託料	58,474,720円	上野図書館業務委託料 51,425,993円 古文獻整理調査業務委託料 他 7,048,727円	備品購入費	7,248,815円	図書購入費(5,346冊) 7,168,095円	その他経費	5,451,033円	その他施設維持管理経費等(図書システム関係含む)	計	78,909,445円			
経費	金額	摘要																									
報償費	132,500円	読書感想文コンクール謝礼および入賞者副賞																									
消耗品費	2,097,010円	新聞・雑誌等購読料 1,515,628円																									
光熱水費	5,505,367円	電気・ガス・水道料金																									
委託料	58,474,720円	上野図書館業務委託料 51,425,993円 古文獻整理調査業務委託料 他 7,048,727円																									
備品購入費	7,248,815円	図書購入費(5,346冊) 7,168,095円																									
その他経費	5,451,033円	その他施設維持管理経費等(図書システム関係含む)																									
計	78,909,445円																										

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	866	1,633	1,725	1,394		
	一般財源	79,822	78,098	77,184	80,696		
	合計(A)	80,688	79,731	78,909	82,090		
人件費	正規職員	業務量	1.90 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費	14,803	15,682	15,682	15,002	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,803	15,682	15,682	15,002		
	合計(A+B)	95,491	95,413	94,591	97,092		
市民1人当たりのコスト(円)			1,013	1,022	1,014	1,051	

指標	指標名	指標の説明	単位	年度			
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	貸出冊数(分館含む)	蔵書を増やし、市全域に図書館・図書室サービスを行い利用しやすくすることで貸出冊数が増加する。	冊	目標	300,000	305,000	340,000
				実績	336,540	346,130	336,387
	指標化できない成果		達成	115.4%	110.3%		

方向	充実	課題及び改善案	現図書館の狭隘化、老朽化に加え駐車場を充分確保することが困難な状況が続く中で、全ての市民及び観光客に対する情報拠点としての役割が求められています。また、市民が交流し、豊かな時間と癒しの空間を提供するなど、人づくりやまちづくりを担うことも期待されており、図書資料はもとより、図書館運営サービスの充実と利用促進を図る必要があります。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	541 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-07-910-01
	基本事業	② 図書館活動推進事業		
	事務事業名	図書室運営管理経費	担当部署	部・課名等 教育委員会 上野図書館
				評価責任者・連絡先 館長 西尾 育夫 0595-21-6868

事務事業の概要	対象	市民及び市内在勤の方、関心を持っていただく方々すべて(一般公衆)		
	目的	図書館法に定める国民の教育と文化の発展に寄与することを目的として図書館サービスを行う。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各分館図書室では、身近な地域において「図書室だより」や地域住民の分館の広報誌・防災行政無線等を活用して、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催の情報発信を行い、利用促進に努めました。 ・図書館情報システムの連携や配送サービスにより、身近な図書室で市内全域の図書館・図書室から資料(本)を取り寄せるとともに、図書館のホームページから本の検索や予約ができることで利便の向上を図りました。(配送冊数:23,727冊) ・地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組み地域振興に寄与しました。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		賃金	1,855,350円	青山図書室事務補助員賃金
		消耗品費	479,491円	新聞・雑誌購入費ほか
		委託料	83,028円	蔵書マーク作成業務委託料
		備品購入費	1,352,537円	図書購入費(1,506冊)
		その他	90,152円	システム回線使用料等
		計	3,860,558円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		弁償金 8千円 ふるさと応援基金繰入金(阿山)100千円
			地方債	0	0	0	0		
			その他	6	4	108	4		
			一般財源	5,108	3,706	3,753	3,561		
	合計(A)	5,114	3,710	3,861	3,565				
	人件費	正規職員	業務量	0.98 人	0.98 人	0.98 人	0.98 人		
			人件費	7,636	7,685	7,685	7,351		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.95 人	0.95 人	0.95 人	0.95 人		
			人件費						
小計(B)	7,636	7,685	7,685	7,351					
合計(A+B)	12,750	11,395	11,546	10,916					
市民1人当たりのコスト(円)			136	123	124	119			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	貸出冊数(本館含む)	蔵書を増やし、市全域に図書館・図書室サービスを行い利用しやすくすることで貸出冊数が増加する。	冊	目標	300,000	305,000	305,000	340,000
				実績	336,540	346,130	336,387	
指標化できない成果			達成	115.4%	110.3%			

方向	継続	課題及び改善案 住民にとって身近な地域にある図書室は、生涯学習推進のため欠くことができない施設です。今後も地域の特性を活かし、ボランティア活動との連携による図書室運営や資料の充実を図り、地域の情報拠点・交流の場を担う必要があります。
-----------	-----------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	512 部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-08-448-01
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業		
	事務事業名	教育集会所管理経費	担当部署	部・課名等 教育委員会生涯学習課
				評価責任者・連絡先 課長 山本恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	対象地域住民、周辺地域住民及び全市民		
	目的	人権同和教育を研究・推進する各教育集会所の管理・運営を行う。		
	内容	<p>伊賀市教育集会所設置条例に基づき、人権感覚豊かな市民を育成し、教育集会所を拠点に実施する人権講演会や地区学習会、識字教室等への参加を促進し、人権同和教育の推進にむけて部落問題をはじめあらゆる人権課題の学習や人権啓発事業の効果的な施設利用ができるように、管理運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理、設備点検、修繕・保守管理等行いました。 ・予算の適正な執行と諸経費の無駄を無くし削減を目指し、実施しました。 ・人権同和教育研究の推進と啓発活動の拠点としての利用促進をめざして実施しました。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		報酬	1,570,800円	
		共済費	243,373円	
		旅費	49,278円	
		需用費	3,230,974円	消耗品664,488円、燃料費240,120円 光熱水費1,931,810円、修繕料394,556円
		役務費	431,918円	通信運搬費248,046円、手数料183,872円
		委託料・使用料等	1,197,574円	施設設備保守点検委託料410,400円
		計	6,723,917円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	6,808	7,040	6,724	6,866	
	合計(A)	6,808	7,040	6,724	6,866			
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	0	0	0			
合計(A+B)	6,808	7,040	6,724	6,866				
市民1人当たりのコスト(円)			73	76	73	75		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	施設利用者数	来所(館)者数	人	目標	22,200	22,200	21000
				実績	24,512	22,355	20705
指標化できない成果	隣保館利用者を含む。		達成	100.7%	93.3%		

方向	継続	課題及び改善案 伊賀市第2次同和施策推進計画に基づき、人権啓発・部落差別解消のための粘り強く継続した取り組みを実施してきました。今後は、伊賀市第3次同和施策推進計画に基づき、人権同和教育推進の拠点施設として、経費削減・無駄をなくす施設管理運営を更に推進します。
-----------	-----------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-08-449-51
	基本事業	③ 人権同和教育推進事業		
	事務事業名	人権教育推進事業	担当部署	部・課名等 教育委員会生涯学習課
				評価責任者・連絡先 課長 山本恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	同和地区及び周辺地域の園児・児童生徒・青年・保護者・住民及び関係教員		
	目的	あらゆる差別に負けない差別を許さない仲間づくりを進め、人権啓発リーダーを育成する。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中学校)、高校生友の会等の開催・支援を行ないました。 ・識字(パソコン)教室を開催しました。 ・地域子ども会活動の支援、地域保護者会の支援、地域青年活動の支援、地域老人クラブ活動の支援を行ないました。 ・地域人権団体・地域NPO・自治会等、あらゆる世代の地域団体や支部同研組織と連携した人権同和教育研究活動及び人権啓発活動の支援を行ないました。 ・関係校区教職員や伊賀市職員等対象の部落問題研修や地域フィールドワークの開催、三者(学校・教集・地域住民:運動団体)連絡会議の開催、地域・周辺地域の人権同和教育推進会議(中学校ブロック)の開催、人権教育・反戦・平和等のパネル展示等を開催しました。 ・就学前から小中学校、高校、地域青年、保護者や地域住民及び周辺地域住民と共に、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目的とした、人権フェスティバルを開催しました。(地域ぐるみヒューマンフェスタ、中瀬夏祭り、各教育集会所の解放文化祭、梅祭りなど) 		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		報償費	2,815,500円	
		旅費	1,095,622円	
		需用費	1,399,617円	消耗品 印刷製本費
		委託料等	1,596,388円	崇広中地域ぐるみ 前川中友の会
		計	6,907,127円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	7,348	7,487	6,907	7,383	
	合計(A)	7,348	7,487	6,907	7,383			
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	0	0	0			
合計(A+B)	7,348	7,487	6,907	7,383				
市民1人当たりのコスト(円)			78	81	74	80		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	教育集会所を拠点とした、人権教育相談・同和教育研究・啓発活動等の参加人数	教育集会所でのあらゆる人権同和教育活動参加者数	人	目標	/	18,800	19,000	19000
				実績	19,280	22,250	19531	
指標化できない成果			達成	/	118.4%	102.8%		

方向	継続	課題及び改善案 誤った認識を改善するため、人権同和教育の取り組みを進めているが、依然として参加のない市民が多数存在します。今後も、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃にむけ、部落差別解消推進法に基づき啓発や教育の推進や相談体制を確立するため、教育集会所を拠点として、継続して事業に取り組み、地域住民・市民が主体的に取り組めるように人権啓発リーダーの育成に努めていきます。
-----------	-----------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)08教育集会所費(細目)449教育集会所事業経費	決算書頁
468 - 0		305

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	512 部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-08-449-56
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	教育集会所事業経費		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 清水 由美 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	同和地区における児童・生徒(高校生・大学生)及び保護者、市民		
	目的	教育的課題の解決、人権同和教育の推進と人権啓発		
	内容	<p>①教育相談(学力保障・進路相談)から、生活相談や子育て相談等、児童生徒の家庭における学習、生活習慣の実態把握や、地域活動の支援を実践する中で、学校や行政各部署との連携を強固にし、教育的課題の解決を目指して事業実施しました。</p> <p>②次世代の人権リーダーの育成を目指して、地域の青年とともに、人権活動を通して、地域社会や自治を協働する主体者の育成を目指して事業実施しました。</p> <p>③講演会や研修のあらゆる機会を通して、地区内はもとより、広く市民の人権意識の向上と同和問題の解決を図りました。</p> <p>④上記の取り組みを推進するために、各教育集会所へ人権教育推進員を配置しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	9,568,594円	人権教育推進員報酬 教集6箇所×12ヶ月	
	共済費	1,261,406円	業務嘱託員保険料	
	計	10,830,000円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	10,952	11,003	10,830	11,160
		合計(A)	10,952	11,003	10,830	11,160
人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.00 人		
		人件費	3,117	0	0	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	6.00 人	6.00 人	6.00 人	6.00 人
		人件費				
	小計(B)	3,117	0	0	0	
合計(A+B)	14,069	11,003	10,830	11,160		
市民1人当たりのコスト(円)		150	118	116	121	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人権教育推進員連絡会の開催	推進員の資質向上と各教集の課題を市全体で共有し、解決を図る。	回	目標		3	5
			実績	10	10	9
指標化できない成果		達成		333.3%	180.0%	

方向	継続	課題及び改善案	部落差別解消推進法に基づき、教育集会所・隣保館での個々の課題解決に向けて、保育園や学校などの教育関係機関や地域の自治会や運動団体などの関係機関と連携を取りながら、より充実した人権同和教育の推進が必要です。今後も、それぞれの地域における人権教育や啓発に関する相談体制の確立や啓発の推進に向け、人権教育推進員の連絡会を定期的開催し、人権情報共有と課題解決に向けた取り組みにつなげていきます。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)08教育集会所費(細目)449教育集会所事業経費	決算書頁
469 - 0		305

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	512 部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-05-08-449-58
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	教育集会所交流事業		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 山本恵美子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	各教育集会所に集う地区学習会や地域子ども会活動等の児童・生徒、及び各教育集会所を拠点に活動する青年		
	目的	地域の枠を越えて交流することで、広域的に活動できる人権啓発リーダーを育成する。		
	内容	<p>伊賀市教育集会所交流事業「みんなよっといで！」を実施しました。 参加者数:169名(参加児童・生徒、引率スタッフ、指導者含む) 内容:各教育集会所で開催している地区学習会の取り組み成果発表と交流会を開催 伊賀市高校生(青年)人権学習交流会の実施(年2回)を実施しました。 参加者数計:56名(高校生、青年・引率スタッフ等含む) 内容:第1回 全国高校生大会(全国青年大会)参加者報告還流学習交流会 第2回 深谷教育集会所青年高校生との交流会</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	謝礼	87,312円	参加者送迎用借用バス運転手謝礼	
	消耗品費	175,883円		
	燃料費	4,799円		
	傷害保険料	7,200円	事業参加者加入保険	
	自動車借上料	156,600円	レンタカー借用代	
	有料道路通行料	3,580円	高校生・青年交流会会場使用料	
	計	435,374円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 国県からの支出金(公民館等を中心とした社会人権教育活性化支援事業)で、伊賀市高校生(青年)人権学習交流会を実施したが、平成27年度から国県からの予算が打ち切りとなりました。	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
			地方債	0	0	0		0
			その他	0	0	0		0
			一般財源	305	325	435		506
		合計(A)	305	325	435	506		
	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.00 人				
		人件費	2,338	0	0	0		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量					
		人件費						
	小計(B)	2,338	0	0	0			
	合計(A+B)	2,643	325	435	506			
	市民1人当たりのコスト(円)	29	4	5	6			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	参加者アンケートの満足度	満足から不満の段階を4段階とし、満足、やや満足が9割以上を目指す。	%	目標		90.0	90
				実績	97.6	95.6	99.1
指標化できない成果			達成		106.2%	110.1%	

方向	継続	課題及び改善案
		あらゆる差別の撤廃に向け、部落差別解消推進法に基づき、啓発や教育の推進にむけた次世代の人権啓発リーダーの育成は、大切な観点であると考えます。平成27年度から補助金がなくなり市単独予算での事業となりましたが、取り組み内容を見直すことで、継続して実施することができました。差別に負けない人権啓発リーダーを育成するため、今後も工夫しながら事業継続します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)01保健体育総務費(細目)450一般事務経費	決算書頁
470 - 0		307

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-06-01-450-01
	基本事業	① スポーツ振興事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	一般事務経費		企画振興部スポーツ振興課	評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民、地域		
	目的	だれもが気軽に楽しめるスポーツの推進を図る。		
	内容	<p>スポーツ振興のための審議会、委員会を開催し、報酬、事務経費、関係団体負担金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会 1回開催 (委員報酬:6,000円×8人×1回) ・中学校体育連盟事業委託料負担金 ・三重県体育協会負担金 ・三重県中学校体育連盟負担金 ・三重県スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・三重県海洋センター連絡協議会負担金 等 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	48,000円	スポーツ推進審議会委員報酬	48,000円
	委託料	446,200円	中学校体育連盟事業委託料	446,200円
	負担金、補助金及び交付金	1,642,314円	三重県体育協会負担金	269,364円
			三重県スポーツ推進委員連絡協議会負担金	154,000円
			三重県海洋センター連絡協議会負担金	100,000円
			ほか	
	その他事務経費	965,966円		
	計	3,102,480円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	250	250	250	250		
	一般財源	6,793	3,054	2,852	2,925		
	合計(A)	7,043	3,304	3,102	3,175		
人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	7,791	7,841	7,841	7,501	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,791	7,841	7,841	7,501		
	合計(A+B)	14,834	11,145	10,943	10,676		
	市民1人当たりのコスト(円)	158	120	118	116		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標		7,000	7,500
	スポーツイベントへの参加者数	シティマラソン・つつじマラソン・スポーツフェスティバル・伊賀地区駅伝の参加者数	人	実績 6,524	7,444	6,029	
	指標化できない成果	体育協会加盟団体等が実施した大会等の参加者数	達成		106.3%	80.4%	

方向	継続	課題及び改善案	平成29年度はスポーツ推進審議会の開催回数が当初の計画より少なかったため、平成30年度は諮問機関として検討を進めている体育施設再編計画の策定を進める。
----	----	---------	---

基本情報	コード	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	事業期間	平成 16 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる			01-10-06-01-451-51
	基本事業	① スポーツ振興事業	担当部署	部・課名等	企画振興部スポーツ振興課
	事務事業名	スポーツ活動振興事業			課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民			
	目的	スポーツ組織・団体を支援し世界で活躍するスポーツ選手を育成する。また、各種イベントを支援し、市民のスポーツに対する意識の向上と地域の活性化を図る。			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員、スポーツ指導者協議会及びスポーツ少年団指導者協議会等を対象に研修会を実施しました。 スポーツ推進委員研修会7回(参加者延べ131人) イベントスタッフ説明会5回(参加者延べ150人) スポーツ指導者研修会2回(参加者43人) スポーツ少年団指導者研修会1回(参加者60人) ・体育協会・スポーツ少年団の活動支援(8,597千円) ・市民参加型スポーツイベント開催数 4回 6/4 青山高原つつじクォーターマラソン 1,191人 11/12 市民スポーツフェスティバル 1,862人 11/26 伊賀上野シティマラソン 2,651人 1/28 伊賀地区駅伝競走大会 325人 ・魅せるスポーツ事業への活動支援 伊賀FCくノへへの支援(4,500千円) ・スポーツ競技の全国、国際大会出場奨励金 			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	報酬	3,419,500円	スポーツ推進委員報酬	3,419,500円	
	報償費	1,010,000円	全国大会出場選手奨励金	1,010,000円	
	委託料	9,947,000円	社会体育振興事業委託料	5,453,000円	
			青少年スポーツ活動育成事業委託料	3,144,000円	
			市民スポーツフェスティバル委託料	750,000円	
			スポーツ教室開催委託料	600,000円	
	負担金・補助金及び交付金	6,119,489円	伊賀フットボールクラブ運営助成金	4,500,000円	
			青山高原つつじクォーターマラソン大会事業補助金	639,000円	
			伊賀上野シティマラソン事業補助金	731,589円	
	その他事務経費	616,311円	ほか		
	計	21,112,300円			

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【その他特定財源】日・独親善少年サッカー交流基金利子
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	1	1	1	1	
			一般財源	20,354	22,409	21,111	21,529	
	合計(A)	20,355	22,410	21,112	21,530			
	人件費	正規職員	業務量	3.07 人	3.07 人	3.07 人	3.07 人	
			人件費	23,919	24,072	24,072	23,029	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		23,919	24,072	24,072	23,029			
合計(A+B)	44,274	46,482	45,184	44,559				
市民1人当たりのコスト(円)		470	498	484	482			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	スポーツイベントへの参加者数	シティマラソン・つつじマラソン・スポーツフェスティバル・伊賀地区駅伝の参加者数	人	目標	/	7,000	7,500	7,000
				実績	6,524	7,444	6,029	
指標化できない成果	体育協会加盟団体等が実施した大会等の参加者数		達成	/	106.3%	80.4%		

方向	継続	課題及び改善案	伊賀上野シティマラソンの参加者数が減少し、達成率がさがった。申込時期を早め、伊賀の地域特性を生かし、他市のマラソン大会との差別化を図る企画を検討していきたい。
-----------	-----------	----------------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)01保健体育総務費(細目)604国体事業経費	決算書頁
472 - 0		309

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	平成 28 年度～平成 32 年度	01-10-06-01-604-01
	基本事業	③ 三重とこわか国体推進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	三重国体準備経費		企画振興部スポーツ振興課	評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	国民											
	目的	2021年(平成33年)に開催する三重国体の準備を行う。											
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国体推進係職員増員(正規職員2名) ・第76回国民体育大会伊賀市準備委員会設立総会及び第1回総会開催 ・第76回国民体育大会伊賀市準備委員会第1回常任委員会開催 ・平成29年愛媛国体の視察 本大会(松山市、西条市、今治市、宇和島市、高知県芸西村 18泊 5名)大会中の視察 事業概要説明(松山市、西条市、今治市、新居浜市 11泊 5名)大会開催後の事業説明会 ・福井しあわせ元気国体リハーサル大会の視察 クレール射撃(勝山市)2泊 2名 剣道・ハンドボール(福井市)2泊 2名 日帰り 2名 ・ハンドボール・剣道競技会場設計業務委託及びクレール射撃場測量業務委託 ・三重県準備委員会や競技開催市町との連絡調整、情報共有、情報収集の会議出席 市町調整会議2回、県担当課との協議8回、競技団体との協議5回、その他5回 											
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助金及び交付金</td> <td>3,950,683円</td> <td>三重国体伊賀市準備委員会負担金</td> <td>3,950,683円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,950,683円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		負担金、補助金及び交付金	3,950,683円	三重国体伊賀市準備委員会負担金	3,950,683円	計	3,950,683円		
経費	金額	摘要											
負担金、補助金及び交付金	3,950,683円	三重国体伊賀市準備委員会負担金	3,950,683円										
計	3,950,683円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	0	3,003	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	666	2,095	1,711	4,885		
	合計(A)	666	5,098	3,951	6,745		
人件費	正規職員	業務量	1.32 人	3.72 人	3.72 人	4.40 人	
		人件費	10,285	29,169	29,169	33,005	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	10,285	29,169	29,169	33,005		
	合計(A+B)	10,951	34,267	33,120	39,750		
	市民1人当たりのコスト(円)	117	368	355	430		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	三重国体開催準備	国体開催準備のための先催地視察	種目	目標		5	5	5
				実績	5	5	5	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	充実	課題及び改善案	平成30年7月に国体開催正式決定を受ける予定であり、国体準備をより本格化する必要があるため伊賀市準備委員会を伊賀市実行委員会に改組し、庁内の推進体制も整える。また、国体を円滑に開催するため、会場整備、会場設営、選手観客の輸送などのノウハウを取得する必要があり、前年度に引き続き先催地の視察を行う。更に具体的な活動を実施する必要があるため、広報、市民活動、おもてなしなどの基本計画を策定する。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-06-02-453-01
	基本事業	② 学校施設整備事業		
	事務事業名	学校給食管理経費	担当部署	部・課名等 教育委員会教育総務課
				評価責任者・連絡先 課長 谷口 順一 0595-47-1280

事務事業の概要	対象	自校方式による給食実施小中学校		
	目的	安全・安心な学校給食を提供できるよう、調理環境の整備を行う。		
	内容	<p>学校給食衛生管理基準に基づき、自校で給食を実施する17校(内中学校1校)を対象に、給食調理員の検便検査、調理場消毒を実施したほか、石鹼液、消毒アルコール、ペーパータオル等の衛生用品(消耗品)の配備や調理器具、施設の修繕を行うとともに、劣化した食器消毒保管庫や保冷庫などの備品を購入しました。</p> <p>また、地産地消を推進するため、伊賀米や伊賀産菜種油購入にかかる補助金を支出しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	12,207,634円	学校配当 3,885,407円 学校給食保存食経費 1,585,760円 調理員賃与被服 1,187,936円 給食用食器 5,446,440円	
	修繕料	1,719,295円	食器洗浄機ボイラー交換修理(島ヶ原中) 481,507円	
	手数料	1,750,261円	給食調理員検便検査手数料 1,657,681円	
	委託料	423,360円	学校給食調理場消毒業務委託料 336,960円	
	負担金、補助及び交付金	3,871,440円	伊賀米米飯給食補助金・伊賀産菜種油給食使用補助金	
	その他事務経費	1,946,582円		
	計	21,918,572円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	900	0	0	0	
			一般財源	23,957	23,409	21,919	22,001	
	合計(A)	24,857	23,409	21,919	22,001			
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	1,559	1,569	1,569	1,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		1,559	1,569	1,569	1,501			
合計(A+B)	26,416	24,978	23,488	23,502				
市民1人当たりのコスト(円)			281	268	252	255		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	自校方式校における給食実施予定日での給食実施率	実際の延実施日／延給食実施予定日×100	%	目標	/	100	100	100
				実績	100	98.6	99.5	/
指標化できない成果			達成	/	98.6%	99.5%	/	

方向	改善	課題及び改善案 学校給食を継続して安定的に提供する必要はある。17校で自校給食室での調理を実施しているが、老朽化が進んでいる学校も多く、給食の安全性を保つため施設管理はもとより、衛生管理の指導を徹底する必要がある。
-----------	-----------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	施策	532	子どもたちが、安心して学べる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-06-02-453-02
	基本事業	③	給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
事務事業名		給食センター管理運営経費	教育委員会給食センター	所長 服部 寿一	0595-21-8194

事務事業の概要	対象	給食センター受配校(所)の児童生徒		
	目的	地場産(伊賀産・三重県産)の使用割合平均30%の維持、安心・安全な給食の実施する。		
	内容	<p>①衛生・安全管理の徹底 夏季・冬季に衛生管理講習会を実施し、情報の共有化を図り、意識付けを行った。</p> <p>②地場産食材の優先活用 JA等物資納入業者と連携し、物資の確保や価格の調整を図り地場産を優先的に取り入れた。</p> <p>③食育の推進 地元食材の紹介「給食だより」の発行を毎月行った。施設見学、職場体験の受入れ、学校保健委員会への残渣資料の提供を行った。 28年11月から伊賀市HPの学校教育ネットワークに中学校給食の献立表を掲載した。</p> <p>④いがっこ給食センター夢(1日当りの調理数 2,520食)、阿山給食センター(1日当りの調理数750食)、大山田給食センター(1日当りの調理数745食)の管理運営に係る経費</p> <p>⑤大山田給食センターでの配食校(給食数165食)の増に対応するため、冷凍冷蔵配送車購入並びに食器・食缶、コンテナ、消毒保管庫等の給食備品を購入し、9月から給食の提供を開始した。</p>		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		業務従事者賃金	19,951,546円	いがっこ・阿山・大山田
		燃料費	6,790,199円	プロパンガス・ボイラー燃料(阿山・大山田)他
		光熱水費	7,838,592円	電気・水道料金(阿山・大山田)他
		修繕料	4,668,787円	施設・厨房機器等修理(3センター)ほか
		運営業務委託料	102,649,680円	調理・配送業務委託料(いがっこ)
		施設設備保守点検委託料	7,305,735円	エレベーター・消防設備等保守点検委託料他
		車両購入費	5,946,480円	大山田給食センター(冷蔵冷凍車)
		給食用備品購入費	8,974,194円	箸・炊飯釜・食器、食缶・コンテナほか (内、大山田 7,920,255円:新居小配食分)
		その他	10,673,629円	施設維持管理・廃棄物処理委託料ほか
		計	174,798,842円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 臨時職員(調理員・配送員)は事業費に含む
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	6,000	5,500	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	155,737	171,731	169,299	162,341	
	合計(A)	155,737	177,731	174,799	162,341			
	人件費	正規職員	業務量	9.00 人	9.00 人	7.20 人	人	
			人件費	70,119	70,569	56,456	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		70,119	70,569	56,456	0			
合計(A+B)	225,856	248,300	231,255	162,341				
市民1人当たりのコスト(円)			2,396	2,660	2,477	1,756		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	地場産率	伊賀産・三重県産の使用	%	目標	/	30	30	30
				実績	32	27	28	
指標化できない成果			達成	/	90.0%	93.3%		

方向	継続	課題及び改善案 『見える給食』を提供するため、職場体験や施設見学を受け入れ、地域教師との交流や子どもたちが学習した野菜を食材としたり、子どもたちが考えたリクエストメニューを取り入れるなど食教育の充実を図ることで、残渣の割合を減らすことに繋げていく。・野菜は天候に左右されやすく、安定した調達が困難であるが、1食単価を考え、可能な限り地元食材の使用に努める。・いがっこ給食センター夢は11年経過し、経年による設備機器の修繕等に経費を要し、阿山給食センターは施設の老朽化に伴う維持管理が課題となっているが、給食調理に影響が出ないよう、優先度を付け、維持管理に取り組む。
-----------	-----------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)02学校給食管理費(細目)683小学校給食センター建設事業	決算書頁
475 - 0		311

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	平成 28 年度～平成 32 年度	01-10-06-02-683-01
	基本事業	③ 給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	小学校給食センター建設事業		教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先 課長 谷口 順一 0595-47-1280

事務事業の概要	対象	小学校を対象とした新給食センターの整備を行う。														
	目的	安全・安心な学校給食を提供できるよう、調理環境の整備を行う。														
	内容	新給食センターの整備を行うため、PFIアドバイザー業務委託を行いました。 PFI事業者選定審査委員会(5回)														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>114,000円</td> <td>事業者選定審査委員会委員報酬</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>11,70,000円</td> <td>PFIアドバイザー業務委託 11,770,000円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>118,079円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,002,079円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	114,000円	事業者選定審査委員会委員報酬	委託料	11,70,000円	PFIアドバイザー業務委託 11,770,000円	その他事務経費	118,079円		計	12,002,079円
経費	金額	摘要														
報酬	114,000円	事業者選定審査委員会委員報酬														
委託料	11,70,000円	PFIアドバイザー業務委託 11,770,000円														
その他事務経費	118,079円															
計	12,002,079円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	48,200	28,500	0	38,000	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	9,668	21,392	12,002	2,758	
		合計(A)	57,868	49,892	12,002	40,758	
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.45 人	0.45 人	0.45 人	
			人件費 3,117	3,529	3,529	3,376	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	3,117	3,529	3,529	3,376	
		合計(A+B)	60,985	53,421	15,531	44,134	
		市民1人当たりのコスト(円)	647	573	167	478	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	事業達成率	計画工事に対する完成率	%	目標		20	50	80
				実績		20	50	
指標化できない成果			達成		20.0%	50.0%		

方向	継続	課題及び改善案	平成32年度に小学校給食センター開設を行うため、平成28年度より関連事業を行い今後の学校給食の安定した提供に努める。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)02学校給食管理費(細目)689給食施設改修事業	決算書頁
476 - 0		311

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	平成 28 年度～平成 29 年度	01-10-06-02-689-01
	基本事業	③ 給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	給食施設改修事業		教育委員会給食センター	評価責任者・連絡先
				所長 服部 寿一 0595-21-8194

事務事業の概要	対象	大山田給食センターで新たに受配する小学校の児童生徒										
	目的	新居小学校校舎改築に伴い、大山田給食センターでの給食を受け入れるため施設改修工事										
	内容	<p>・新居小学校校舎改築に伴い、大山田給食センターでの給食受入れと安全・安心な給食を提供するために学校給食衛生管理基準も考慮し、大山田給食センターの電気設備及び機械設備(調理室厨房機器)改修工事を行なった。 (9月から約165食増の750食を調理)</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食センター改修工事費</td> <td>25,842,240円</td> <td>大山田給食センター電気及び機械設備改修工事 (上野電工株式会社)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,842,240円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	給食センター改修工事費	25,842,240円	大山田給食センター電気及び機械設備改修工事 (上野電工株式会社)	計	25,842,240円		
経費	金額	摘要										
給食センター改修工事費	25,842,240円	大山田給食センター電気及び機械設備改修工事 (上野電工株式会社)										
計	25,842,240円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	700	25,600	24,500	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	67	1,371	1,342	0		
	合計(A)	767	26,971	25,842	0		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	767	26,971	25,842	0			
市民1人当たりのコスト(円)			9	289	277	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	新居小学校給食受入に対応するための改修工事経費であり、指標とできない	目標						
		実績						
指標化できない成果	達成							

方向	完了	<p>課題及び改善案</p> <p>・新居小への配食に向け、工期内に最低限必要な改修工事を完了し、9月から、給食を提供することができたが、予算の関係で三槽シンクに変更できないなど、学校給食衛生管理基準を充たせておらず、調理室内の室温については、保健所の給食施設監視結果で空調設備設置を検討するよう要請され、スポットエアコンの購入等で対応したい。</p> <p>・平成32年4月の新小学校給食センター稼動(予定)に伴い、平成31年度で阿山給食センターが廃止となるため、使用可能な厨房機器等については移設することで対応できると考えている。</p>
----	----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	平成 16 年度～平成 31 年度	01-10-06-03-455-01
	基本事業	② スポーツ施設整備・維持管理事業	担当部署	部・課名等 企画振興部スポーツ振興課
事務事業名	体育施設維持管理経費	評価責任者・連絡先	課長 福森 靖 0595-22-9635	

事務事業の概要	対象	市民(体育施設利用者)														
	目的	施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理の充実を図り、健康増進を図る場として提供する。														
	内容	<p>・指定管理者制度を導入することにより、民間事業者の柔軟な発想を活かした経営手法や運営ノウハウを活用し、サービスの向上、利用者ニーズへのより迅速な対応、施設の有効活用及び管理経費の削減を図りました(29施設)。公共施設最適化計画に基づき直営4施設を体育施設から除外しました。</p> <p>上野運動公園【野球場10,067人(対前年比(以降省略)94.5%)・プール2,553人(54.0%)・競技場19,661人(86.7%)・スポーツセンター800人(90.0%)・テニスコート8,111人(91.60%)】・伊賀上野武道館10,092人(86.0%)・上野緑ヶ丘テニスコート11,358人(103.7%)・ゆめが丘テニスコート5,952人(79.4%)・ゆめが丘多目的広場12,283人(71.5%)・鳥ヶ原運動場5,261人(90.2%)・阿山第1運動公園49,996人(98.1%)・阿山運動公園テニスコート1,606人(105.0%)・すぱーく阿山60,112人(103.8%)阿山第2運動公園7,871人(96.2%)・阿山B&G海洋センター36,447人(105.8%)・大山田B&G海洋センター23,675人(104.1%)・青山北部公園運動施設4,730人(99.6%)・青山テニスコート225人(81.8%)・青山グラウンド12,108人(87.5%)・大山田東体育館・グラウンド1,518人(68.6%)・いがまちスポーツセンター多目的グラウンド18,048人(100.0%)・いがまちスポーツセンターテニスコート878人(74.5%)・いがまちスポーツセンターゲートボール場160人(47.2%)・トレーニングルーム1,705人(101.2%)・伊賀市直営施設4施設2,058人(37.1%)・しらすぎ運動公園21,219人(118.2%)・伊賀市民弓道場4,115人・伊賀市民体育館23,270人・伊賀市民多目的広場130人・伊賀市民管理棟993人</p>														
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">経費</th> <th style="width:20%;">金額</th> <th style="width:60%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">122,055,710円</td> <td>伊賀市体育施設指定管理料 120,183,760円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">3,673,245円</td> <td>ほか 光熱水費 209,685円 修繕料 3,463,560円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td style="text-align: right;">521,152円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">126,250,107円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	122,055,710円	伊賀市体育施設指定管理料 120,183,760円	需用費	3,673,245円	ほか 光熱水費 209,685円 修繕料 3,463,560円	その他事務経費	521,152円		計	126,250,107円	
経費	金額	摘要														
委託料	122,055,710円	伊賀市体育施設指定管理料 120,183,760円														
需用費	3,673,245円	ほか 光熱水費 209,685円 修繕料 3,463,560円														
その他事務経費	521,152円															
計	126,250,107円															

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【特定財源】 (その他)体育施設使用料ほか
			国県支出金	31,479	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	767	63	40	69	
			一般財源	133,560	121,442	126,210	120,909	
	合計(A)	165,806	121,505	126,250	120,978			
	人件費	正規職員	業務量	0.57 人	0.37 人	0.37 人	0.37 人	
			人件費	4,441	2,902	2,902	2,776	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		4,441	2,902	2,902	2,776			
合計(A+B)	170,247	124,407	129,152	123,754				
市民1人当たりのコスト(円)			1,806	1,333	1,384	1,339		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	スポーツ施設利用者数	スポーツ振興を推進するうえで、市内体育施設の利用者数を成果指標とする。	人	目標	/	350,000	372,000	360,000
				実績	352,055	371,317	357,002	
指標化できない成果	県営ゆめドーム施設利用者数	達成	/	106.1%	96.0%			

方向	継続	<p>課題及び改善案</p> <p>伊賀市内の体育施設の多くが老朽化し修繕が必要な状態である。スポーツ施設再編計画の立案を進め、継続する施設から計画的に修繕を実施する。 また、公共施設最適化計画に基づき、市が直営で管理している施設についても、利用者が地域に限定しているいわゆる地域のコミュニティ施設となっている施設のあり方の検討を進める必要がある。</p>
----	----	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-10-06-03-456-51
	基本事業	② スポーツ施設整備・維持管理事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	体育施設整備事業	企画振興部スポーツ振興課	評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対 象	市民(体育施設利用者)											
	目 的	スポーツ・レクリエーションの場として体育施設を整備し、広く市民及び市民以外の余暇の活用、健康増進に寄与する。											
	内 容	いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事を行いました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">641,520円</td> <td>いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事設計業務委託 641,520円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">13,737,600円</td> <td>いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事 13,737,600円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">14,379,120円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	641,520円	いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事設計業務委託 641,520円	工事請負費	13,737,600円	いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事 13,737,600円	計	14,379,120円
経費	金額	摘要											
委託料	641,520円	いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事設計業務委託 641,520円											
工事請負費	13,737,600円	いがまちスポーツセンター高圧受変電設備改修工事 13,737,600円											
計	14,379,120円												

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					【特定財源】 (地方債)社会体育施設整備事業
		国県支出金	0	0	0		
		地方債	134,800	14,300	13,600	5,000	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	7,259	788	779	4,318	
合計(A)		142,059	15,088	14,379	9,318		
人件費	正規職員	業務量 0.52 人	0.37 人	0.37 人	0.37 人		
	人件費	4,052	2,902	2,902	2,776		
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		
	人件費						
	小計(B)	4,052	2,902	2,902	2,776		
合計(A+B)		146,111	17,990	17,281	12,094		
市民1人当たりのコスト(円)		1,550	193	186	131		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	施設の新設・大規模改修施設数	箇所	目標	3	1	
			実績	2	3	1
指標化できない成果		達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 公共施設最適化計画を踏まえつつ、継続すべき施設について計画的な整備を進める必要がある。
----	----	--

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)02徴税費(目)01賦課徴収費 (細目)467賦課徴収費	決算書頁	333
479 - 0			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	02-01-02-01-467-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	賦課徴収費		健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先 課長 前川 一幸 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	伊賀市国民健康保険加入者		
	目的	国民健康保険税の適正な賦課及び確実な徴収の推進		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年7月1日を本算定日とし、年間保険税を通知するとともに、年間分を9期(特別徴収は6期)に分け徴収しました。 ・三重県国民健康保険広域化等支援方針で、県内各市町の目標収納率について定められており、目標達成に向け、収税課と連携し、納期限内納付の促進、収納対策に努めました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	賃金	1,880,631円	事務補助員賃金	
	共済費	293,693円	事務補助員保険料	
	通信運搬費	2,117,689円	郵便料金	
	納税通知書作成委託料	1,702,080円	ブッキング含む(レスター工業株)	
	手数料	532,330円	口座振替手数料	
	印刷製本費	140,400円	窓あき封筒、督促状用はがき等	
	その他	29,828円		
	計	6,696,651円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	6,575	10,579	6,697	10,700	
	合計(A)	6,575	10,579	6,697	10,700			
	人件費	正規職員	業務量	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人	
			人件費	23,373	23,523	23,523	22,503	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		23,373	23,523	23,523	22,503			
合計(A+B)	29,948	34,102	30,220	33,203				
市民1人当たりのコスト(円)			318	366	324	360		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	収納率	収納額/調定額	%	目標	93.00	93.00	94.12
				実績	93.55	94.01	94.20
指標化できない成果			達成	101.1%	101.3%		

方向	継続	課題及び改善案	<p>収納率は安定しているものの安定した財政運営のためには、保険税の確保は重要である。納期限内納付の啓発促進、口座振替の推進等を継続して行うとともに滞納者の実態を早期に把握し、納付相談の機会をとらえ、適切な納付勧奨を行うことで、収納率向上につなげる。</p>
----	----	---------	---

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)08保健事業費(項)02保健事業費(目)01保健衛生普及費(細目)498保健衛生普及費	決算書頁
480 - 0		339

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 18 年度～平成 32 年度	02-08-02-01-498-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	保健衛生普及費		健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先 課長 前川 一幸 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	伊賀市国民健康保険加入者																												
	目的	被保険者の疾病予防及び疾病の早期発見、早期治療の推進																												
	内容	<p>・簡易人間ドックは、(社)伊賀医師会及び(社)名賀医師会と契約し、市内の指定医療機関に、理学的検査、心電図、血液検査、胸部X線などの実施を委託しました。受診者589人(定員610人) 自己負担額8,500円 通常公費26,600円</p> <p>また希望により、簡易人間ドック受診の男性に対し、前立腺がんの実施を委託しました。受診者261人 自己負担額500円 通常公費900円</p> <p>・脳ドックは、指定医療機関と契約し、血液検査、血圧検査、心電図、画像診断(MRI・MRA)などの実施を委託しました。受診者395人(定員400人) 自己負担額9,000円 通常公費27,100円</p> <p>・国民健康保険の医療費負担の仕組みと健康に関する認識を深めていただくことを目的に、医療費のお知らせ(医療費通知書)を年6回世帯主宛に送付しました。60,566通</p> <p>・医療費節約の意識啓発と医療費の適正化を図るため、先発医薬品と後発(ジェネリック)医薬品の自己負担額を比較した差額通知を被保険者に送付しました。1,585通</p>																												
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック委託料</td> <td>15,730,023円</td> <td>一般社団法人伊賀医師会、一般社団法人名賀医師会</td> </tr> <tr> <td>脳ドック委託料</td> <td>10,704,500円</td> <td>上野総合病院、岡波総合病院</td> </tr> <tr> <td>通知書作成業務委託料</td> <td>2,976,156円</td> <td>医療費通知書作成(榊松阪電子計算センター)</td> </tr> <tr> <td>通知書作成業務委託料</td> <td>76,422円</td> <td>後発医薬品利用差額通知書作成(三重県国民健康保険団体連合会)</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品利用差額通知書分析作成委託料</td> <td>86,400円</td> <td>三重県国民健康保険団体連合会</td> </tr> <tr> <td>郵便料金</td> <td>3,732,909円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>49,922円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33,356,332円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	人間ドック委託料	15,730,023円	一般社団法人伊賀医師会、一般社団法人名賀医師会	脳ドック委託料	10,704,500円	上野総合病院、岡波総合病院	通知書作成業務委託料	2,976,156円	医療費通知書作成(榊松阪電子計算センター)	通知書作成業務委託料	76,422円	後発医薬品利用差額通知書作成(三重県国民健康保険団体連合会)	後発医薬品利用差額通知書分析作成委託料	86,400円	三重県国民健康保険団体連合会	郵便料金	3,732,909円		その他	49,922円		計	33,356,332円			
経費	金額	摘要																												
人間ドック委託料	15,730,023円	一般社団法人伊賀医師会、一般社団法人名賀医師会																												
脳ドック委託料	10,704,500円	上野総合病院、岡波総合病院																												
通知書作成業務委託料	2,976,156円	医療費通知書作成(榊松阪電子計算センター)																												
通知書作成業務委託料	76,422円	後発医薬品利用差額通知書作成(三重県国民健康保険団体連合会)																												
後発医薬品利用差額通知書分析作成委託料	86,400円	三重県国民健康保険団体連合会																												
郵便料金	3,732,909円																													
その他	49,922円																													
計	33,356,332円																													

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	1,732	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	30,683	34,898	31,285	31,766		
	合計(A)	32,415	34,898	33,356	31,766		
人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	7,791	7,841	7,841	7,501	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,791	7,841	7,841	7,501		
	合計(A+B)	40,206	42,739	41,197	39,267		
	市民1人当たりのコスト(円)	427	458	442	425		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	検診率	検診者/定員	%	目標		100	100	100
				実績	94.9	94.5	97.4	
指標化できない成果			達成		94.5%	97.4%		

方向	継続	課題及び改善案	応募者数の多い脳ドックの定員を増やせるよう、今後とも、受入れ医療機関との協議をする。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)03国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定診療所費)(款)01総務費(項)01施設管理費(目)01一般管理費(細目)465一般管理費	決算書頁
481 - 0		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	03-01-01-01-465-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	一般管理費		阿波診療所	評価責任者・連絡先 所長 田中 宏明 0595-47-0305

事務事業の概要	対象	利用者(患者)・医療従事者		
	目的	・施設維持管理に努め、安全な施設運営を図る		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・診療業務(山田診療所:内科・外科、阿波診療所:内科・小児科・外科・整形外科、霧生診療所:内科) ・医療事務(受付・計算・診療報酬請求・証明書発行) ・院内処方(調剤・服薬説明等) ・庶務(会計事務・文書事務) ・施設管理 		
事業に要した主な経費など	支出科目	金額	摘要	
	報酬	10,655,016円	嘱託医師報酬・業務嘱託員報酬	
	共済費	429,661円	嘱託・臨時職員共済費	
	賃金	2,326,816円	嘱託職員・臨時職員経費	
	需用費	2,318,487円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	
	役務費	1,054,339円	通信運搬費・手数料、保険料	
	委託料	2,272,317円	施設維持保守点検	
	その他	1,788,606円	電算機借上、住宅借入、土地借上等	
	計	20,845,242円		

項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	山田診療所 阿波診療所 霧生診療所 合算数値	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	6,155	4,710	6,890	5,985		
	一般財源	25,776	24,707	13,955	5,980		
	合計(A)	31,931	29,417	20,845	11,965	特定財源	
人件費	正規職員	業務量 3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人	へき地診療所運営補助金 6,441,000円 文書料 355,810円 医療材料売払等 94,065円	
	人件費	23,373	23,523	23,523	22,503		
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費						
	小計(B)	23,373	23,523	23,523	22,503		
合計(A+B)	55,304	52,940	44,368	34,468			
市民1人当たりのコスト(円)	587	568	476	373			

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1日あたりの平均受診者数	受診者数/診療日数	人	目標	14	13	13
	山田(27) 8 (28) 8 (29)11		実績	14	13	13
	阿波 25 22 22 霧生 8 8 6					
指標化できない成果		達成	92.9%	100.0%		

方向	縮小	課題及び改善案	山田診療所・・・4月～10月:火・水(午前・午後)診療 11月～:休診 阿波診療所・・・継続:月・火・水・金(午前・午後)・木(午前のみ)診療 霧生診療所・・・継続:木曜日午後のみ診療
----	----	---------	--

整理番号	(会計)03国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定診療所費)(款)02医業費(項)01医業費	決算書頁
482 - 0	(目)01医療用機械器具費(細目)505医療用機械器具費	351

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	03-02-01-01-505-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	医療用機械器具費	阿波診療所	評価責任者・連絡先	所長 田中 宏明 0595-47-0305

事務事業の概要	対象	医療用機械器具の安全使用											
	目的	医療器具の適正な保守点検・管理を行う											
	内容	レントゲンテレビ装置保守点検(年2回)(山田) 在宅酸素装置借上(阿波)											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>241,920円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>503,883円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>745,803円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	241,920円		使用料及び賃借料	503,883円		計	745,803円
経費	金額	摘要											
委託料	241,920円												
使用料及び賃借料	503,883円												
計	745,803円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,502	2,616	746	1,027		
	合計(A)	1,502	2,616	746	1,027		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	1,502	2,616	746	1,027			
市民1人当たりのコスト(円)			16	29	8	12	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	受診者(延)	診療所の利用者数	人	目標		7,500	6,800	6,000
				実績	7,906	6,962	6,212	
指標化できない成果			達成		92.8%	91.4%		

方向	縮小	課題及び改善案	山田診療所・・・4月～10月:火・水(午前・午後)診療 11月～:休診 阿波診療所・・・継続:月・火・水・金(午前・午後)・木(午前のみ)診療 霧生診療所・・・継続:木曜日午後のみ診療
----	----	---------	--

整理番号	(会計)03国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定診療所費)(款)02医業費(項)01医業費	決算書頁
483 - 0	(目)02医療用消耗器材費(細目)506医療用消耗器材費	351

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	03-02-01-02-506-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	医療用消耗器材費	阿波診療所	所長 田中 宏明	0595-47-1151

事務事業の概要	対象	利用者(患者)		
	目的	衛生的な薬袋・診療用消耗品で患者さんを安心させることができる		
	内容	医療用消耗品 (臨床検査容器、採便管、ネオチューブNP、薬袋、ハルンカップ等)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	84,039円	消耗品費(検査容器、医療用消耗品)	
	計	84,039円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	山田診療所 阿波診療所 霧生診療所 合算数値	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	86	136	84		103
		合計(A)	86	136	84		103
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	86	136	84	103			
市民1人当たりのコスト(円)		1	2	1	2		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受診者(延)	診療所の利用者数	人	目標	7,500	6,800	6,000
			実績	7,906	6,962	6,212
指標化できない成果		達成		92.8%	91.4%	

方向	縮小	課題及び改善案
		山田診療所・・・4月～10月:火・水(午前・午後)診療 11月～:休診 阿波診療所・・・継続:月・火・水・金(午前・午後)・木(午前のみ)診療 霧生診療所・・・継続:木曜日午後のみ診療

整理番号	(会計)03国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定診療所費)(款)02医業費(項)01医業費	決算書頁
484 - 0	(目)03医薬品衛生材料費(細目)507医薬品衛生材料費	351

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	03-02-01-03-507-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	医薬品衛生材料費	阿波診療所	評価責任者・連絡先	所長 田中 宏明 0595-47-1151

事務事業の概要	対象	利用者(患者)		
	目的	受診後、その場で薬をお渡しできる院内処方を適用のため患者の安全、利便性を図る		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・調剤医薬品、衛生材料の購入(入札による単価契約) ・在庫管理 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	30,640,133円	医薬材料費(調剤薬品、衛生材料)	
	役務費	31,776円	手数料(霧生)	
	計	30,671,909円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	42,986	50,432	30,672	40,660		
	合計(A)	42,986	50,432	30,672	40,660		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	42,986	50,432	30,672	40,660			
市民1人当たりのコスト(円)			456	541	329	440	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	受診者(延)	診療所の利用者数	人	目標		7,500	6,800	6000
				実績	7,906	6,962	6,212	
指標化できない成果			達成		92.8%	91.4%		

方向	縮小	課題及び改善案	山田診療所・・・4月～10月:火・水(午前・午後)診療 11月～:休診 阿波診療所・・・継続:月・火・水・金(午前・午後)・木(午前のみ)診療 霧生診療所・・・継続:木曜日午後のみ診療

整理番号	(会計)03国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定診療所費)(款)02医業費(項)01医業費	決算書頁
485 - 0	(目)04医業諸費(細目)508医業諸費	351

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	平成 16 年度～平成 32 年度	03-02-01-04-508-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	医業諸費	阿波診療所	評価責任者・連絡先	所長 田中 宏明 0595-47-1151

事務事業の概要	対象	利用者(患者)・医療従事者		
	目的	・迅速で正確な臨床検査の結果によって、適正な治療を行なうことができる		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査業務委託 ・X線被爆線量測定検査委託 ・医療廃棄物処理業務委託 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,123,756円	臨床検査業務委託料 992,743円 X線被爆線量測定検査委託料 76,950円 医療廃棄物処理業務委託料 54,063円	
	計	1,123,756円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,407	2,326	1,124	1,619		
	合計(A)	1,407	2,326	1,124	1,619		
	人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	0	0	0	0	
		合計(A+B)	1,407	2,326	1,124	1,619	
		市民1人当たりのコスト(円)	15	25	13	18	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	受診者(延)	診療所の利用者数	人	目標		7,500	6,800	6000
				実績	7,906	6,962	6,212	
指標化できない成果			達成		92.8%	91.4%		

方向	縮小	課題及び改善案	山田診療所・・・4月～10月:火・水(午前・午後)診療 11月～:休診 阿波診療所・・・継続:月・火・水・金(午前・午後)・木(午前のみ)診療 霧生診療所・・・継続:木曜日午後のみ診療
----	----	---------	--

整理番号	(会計)05住宅新築資金等貸付特別会計(款)01総務費(項)01総務管理費(目)01一般管理費(細目)465一般管理費	決算書頁
486 - 0		359

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	512 部落差別をなくす	平成 16 年度～平成 32 年度	05-01-01-01-465-01
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	一般管理費		人権生活環境部同和課	評価責任者・連絡先 課長 岡澤 勝彦 0595-47-1287

事務事業の概要	対象	住宅新築資金等貸付金の貸付を受けた者		
	目的	償還金の完済を促進		
	内容	住宅新築資金等貸付金の滞納者に対し、納付相談や集金業務、督促状や催告書の発送及び電話や訪問、弁護士による督促業務を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	給料	600,000円	償還助成事業費補助金対象分	
	職員手当等	20,000円		
	需用費	131,207円	消耗品、燃料費	
	役務費	4,808円	口座振替手数料	
	委託料	714,720円	システム保守点検料 414,720円 弁護士業務委託料 300,000円	
	負担金、補助及び交付金	10,000円	三重県住環境整備事業推進協議会負担金	
	計	1,480,735円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	1,520	1,539	1,481	1,139	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	129	0	1,130	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	1,520	1,668	1,481	2,269	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.19 人	0.19 人	0.19 人	0.19 人	
		人件費	1,481	1,490	1,490	1,426	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,481	1,490	1,490	1,426	
合計(A+B)	3,001	3,158	2,971	3,695			
市民1人当たりのコスト(円)		32	34	32	40		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	滞納件数	件	目標	180	170	150
			実績	190	180	165
指標化できない成果		達成		100.0%	103.3%	

方向	継続	課題及び改善案	借受人のみならず、連帯保証人に対しても、より一層の督促を実施することで、債務を認識させ、貸付金の返済に繋げる。借受人及び連帯保証人の高齢化が進み、生活困窮者が多く、返済困難な状況に陥っている滞納者も増えていることから、債務免除や債権放棄についても検討する。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)07駐車場事業特別会計(款)01駐車場事業費(項)01駐車場事業費(目)01駐車場事業費 (細目)517駐車場事業費	決算書頁
487 - 0		365

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	721	健全な財政運営	平成 16 年度～平成 32 年度	07-01-01-01-517-01
	基本事業	② 公有資産の有効活用	担当部署	部・課名等
事務事業名	駐車場事業費	財務部管財課	評価責任者・連絡先	課長 藤岸 登 0595-22-9610

事務事業の概要	対象	市営駐車場8ヶ所																										
	目的	路上駐車解消によって、道路交通の円滑化と市民、鉄道乗降客、観光客等の利便を図る。																										
	内容	平成29年4月1日より『上野公園第2駐車場(乗用車53台、バス7台)』を供用開始したことで、計9ヶ所の市営駐車場の管理運営を委託しました。 【駐車場(上野)】 上野公園第1駐車場(旧上野公園駐車場)、上野公園第2駐車場、伊賀上野駅駐車場、城北駐車場、だんじり会館駐車場、佐那具駅駐車場 【駐車場(伊賀支所)】 柘植駅駐車場、新堂駅駐車場 【駐車場(島ヶ原支所)】 島ヶ原駐車場																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>適要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>953,648円</td> <td>印刷製本費 253,854円 光熱水費 332,594円 修繕料 367,200円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>12,721円</td> <td>手数料8,000円、火災保険料4,721円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>24,578,189円</td> <td>施設維持管理委託料(伊賀市シルバー人材センターほか) 23,331,869円 警備業務委託料1,047,600円、保守点検委託料198,720円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>375,192円</td> <td>土地建物借上料</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>448,200円</td> <td>工事費</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>1,237,400円</td> <td>消費税</td> </tr> <tr> <td>繰出金</td> <td>19,222,650円</td> <td>一般会計繰出金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46,828,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	適要	需用費	953,648円	印刷製本費 253,854円 光熱水費 332,594円 修繕料 367,200円	役務費	12,721円	手数料8,000円、火災保険料4,721円	委託料	24,578,189円	施設維持管理委託料(伊賀市シルバー人材センターほか) 23,331,869円 警備業務委託料1,047,600円、保守点検委託料198,720円	使用料及び賃借料	375,192円	土地建物借上料	工事請負費	448,200円	工事費	公課費	1,237,400円	消費税	繰出金	19,222,650円	一般会計繰出金	計	46,828,000円
経費	金額	適要																										
需用費	953,648円	印刷製本費 253,854円 光熱水費 332,594円 修繕料 367,200円																										
役務費	12,721円	手数料8,000円、火災保険料4,721円																										
委託料	24,578,189円	施設維持管理委託料(伊賀市シルバー人材センターほか) 23,331,869円 警備業務委託料1,047,600円、保守点検委託料198,720円																										
使用料及び賃借料	375,192円	土地建物借上料																										
工事請負費	448,200円	工事費																										
公課費	1,237,400円	消費税																										
繰出金	19,222,650円	一般会計繰出金																										
計	46,828,000円																											

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	38,101	47,701	46,828	47,802	
		合計(A)	38,101	47,701	46,828	47,802	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,948	1,961	1,961	1,876	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,948	1,961	1,961	1,876	
合計(A+B)	40,049	49,662	48,789	49,678			
市民1人当たりのコスト(円)		425	532	523	538		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果		達成					

方向	課題及び改善案	上野公園第2駐車場を供用開始したことで駐車台数が増え、19,222,650円を一般会計へ繰出すことができた。ただ、南庁舎に隣接する駐車場は、新庁舎が供用開始される平成31年1月以降は主に観光客が利用する場所になると考えられる。 計画的な維持修繕を見込む経営を今後も継続していくため、また近隣にある民間の駐車場経営を圧迫しないためにも、上野城などの観光地に近い市営駐車場の駐車料金について見直す必要がある。(現行は、いずれも1回の駐車料金 乗用車500円、バス1,000円、二輪200円)
----	---------	--

整理番号	(会計)09介護保険事業特別会計(款)01総務費(項)01総務管理費(目)01一般管理費(細目)522	決算書頁
488 - 0	一般管理経費	377

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	123	高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる	平成 16 年度～平成 32 年度	09-01-01-01-522-01
	基本事業	① 介護保険サービス	担当部署	部・課名等
事務事業名	一般管理経費		健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	介護保険被保険者		
	目的	介護保険事業の運営		
	内容	高齢者施策運営委員会を3回、地域密着型サービス運営委員会を1回開催しました。事務機器やシステムを適正に使用するため事務機器保守、システム保守及びシステム使用料を支出しました。過年度国県支出金を精算し実績を超過した分は返還しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	事務補助員賃金、共済費	3,495,544円	事務補助員(2名)賃金、共済費	
	計画策定委託料	3,499,200円	委託先:株式会社名豊	
	システム開発業務委託料	9,731,880円	委託先:株式会社松阪電子計算センターほか	
	システム保守委託料	7,452,000円	委託先:株式会社松阪電子計算センターほか	
	システム等使用料	7,000,854円	委託先:日立キャピタル株式会社ほか	
	過年度国県支出金精算返還金	298,162,015円	返還金	
	その他	3,362,239円	委員会報酬、その他の経費	
	計	332,703,732円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
			地方債	0	0	0		0
			その他	36,470	4,035	128		150
			一般財源	132,092	35,433	332,576		25,057
		合計(A)	168,562	39,468	332,704	25,207		
		人件費	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		正規職員	人件費	7,791	7,841	7,841	7,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
	小計(B)	7,791	7,841	7,841	7,501			
	合計(A+B)	176,353	47,309	340,545	32,708			
	市民1人当たりのコスト(円)	1,871	507	3,648	354			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業運営にかかる経費と国県支出金の返還金等で経費のみの支出ではないため			目標			
				実績			
指標化できない成果			達成				

方向	継続	課題及び改善案	事務を継続していく上で必要な経費である。
----	----	---------	----------------------

整理番号	(会計)09介護保険事業特別会計(款)01総務費(項)02徴収費(目)01賦課徴収費(細目)533賦課徴収経費	決算書頁
489 - 0		379

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	123	高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる	平成 16 年度～平成 32 年度	09-01-02-01-533-01
	基本事業	① 介護保険サービス	担当部署	部・課名等
事務事業名	賦課徴収経費		健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-26-3939

事務事業の概要	対象	介護保険制度運営に伴う、第1号被保険者(65歳以上の高齢者)		
	目的	第1号被保険者に対して、介護保険料に関しての理解を深めていただき、納入していただく		
	内容	<p>介護保険事業の円滑な運営を図るため、第1号被保険者に対して介護保険料の賦課、特別徴収対象者及び普通徴収対象者に徴収事務を行うとともに、介護保険料に対する理解をいただき、納入していただきました。</p> <p>調定額 2,139,499,506円 収納額 2,118,404,967円 収納率 99.01%</p>		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		需用費 役務費 委託料 償還金、利子及び割引料 計	572,293円 3,852,462円 2,625,588円 2,407,423円 9,457,766円	納入通知書、督促状等印刷製本費等 納入通知書、督促状、還付通知書等郵送料 口座振替手数料、年金特別徴収經由機関業務手数料 通知書封入封緘業務委託料 保険料還付金、還付加算金

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	9,675	10,938	9,458	14,796	
		合計(A)	9,675	10,938	9,458	14,796	
	人件費	正規職員	業務量	2.50 人	2.50 人	2.50 人	2.50 人
			人件費	19,478	19,603	19,603	18,753
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	19,478	19,603	19,603	18,753	
合計(A+B)	29,153	30,541	29,061	33,549			
市民1人当たりのコスト(円)		310	328	312	363		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
介護保険料収納率	介護保険事業の円滑な推進を図るため、介護保険料の収納率を上げる。	%	目標		98	98
			実績	98.8	98.8	99.01
指標化できない成果		達成		100.8%	101.0%	

方向	継続	課題及び改善案	収納率維持・向上のため、適正な賦課・徴収業務を行うためには一定の事務経費は必要である。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)09介護保険事業特別会計(款)01総務費(項)03介護認定審査会費(目)01介護認定審査会費(細目)535介護認定審査会経費	決算書頁
490 - 0		379

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	123 高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる	平成 16 年度～平成 32 年度	09-01-03-01-535-01
	基本事業	① 介護保険サービス	担当部署	部・課名等
事務事業名	介護認定審査会経費		健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-26-3939

事務事業の概要	対象	65歳以上の高齢者及び40歳から65歳未満で特定疾病の原因により介護や支援が必要な市民		
	目的	介護認定審査会により要介護状態区分を判定し、区分に応じた介護保険サービスを利用することができる。		
	内容	申請者の要介護状態区分の判定を行うため、介護認定審査会を開催しました。一つの審査会(合議体)で判定される件数は約30件であり、原則毎週木曜日に5つの合議体を招集し審査を行いました。 審査会開催数 231回 審査件数 5,213件		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	審査会委員報酬	19,396,400円	審査会委員報酬(868件)	
	旅費	453,065円	審査会委員旅費	
	需用費	1,780,995円	消耗品、印刷製本費	
	役務費	4,361,621円	資料郵送料	
	計	25,992,081円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	25,320	28,430	25,992	56,969
		合計(A)	25,320	28,430	25,992	56,969
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人
		人件費	3,117	3,137	3,137	3,001
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 0.50 人	0.50 人	人	人
		人件費				
		小計(B)	3,117	3,137	3,137	3,001
合計(A+B)	28,437	31,567	29,129	59,970		
市民1人当たりのコスト(円)		302	339	312	649	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	介護認定審査件数	審査件数	件	目標		6,000	5,600	5,300
				実績	5,412	5,553	5,213	
指標化できない成果			達成		92.5%	93.1%		

方向	継続	課題及び改善案	介護認定申請者の要介護認定審査判定を行うためには一定の事務経費は必要である。
----	----	---------	--